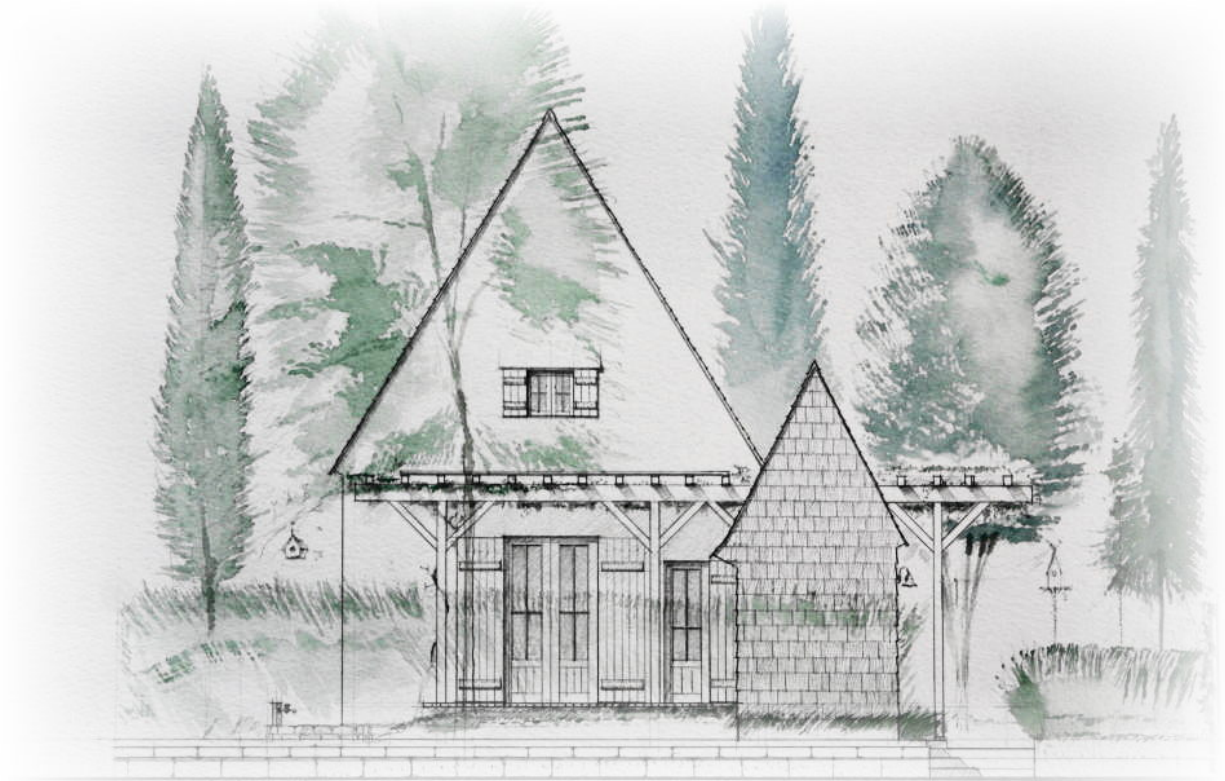


GALLERY BOOK

木を植え、街に住む。



大きな森の小さなギャラリー

YOSINOBU SIMA & IZUMI SIMA

街の一角に家がある。その庭に大きな木が、ここには緑
に覆われた暮らしがあり、暑い陽射しから守られている。
木々の間を通り抜ける涼しげな風が流れる。これは、
簡素な暮らしを求める人のために描かれた家である。

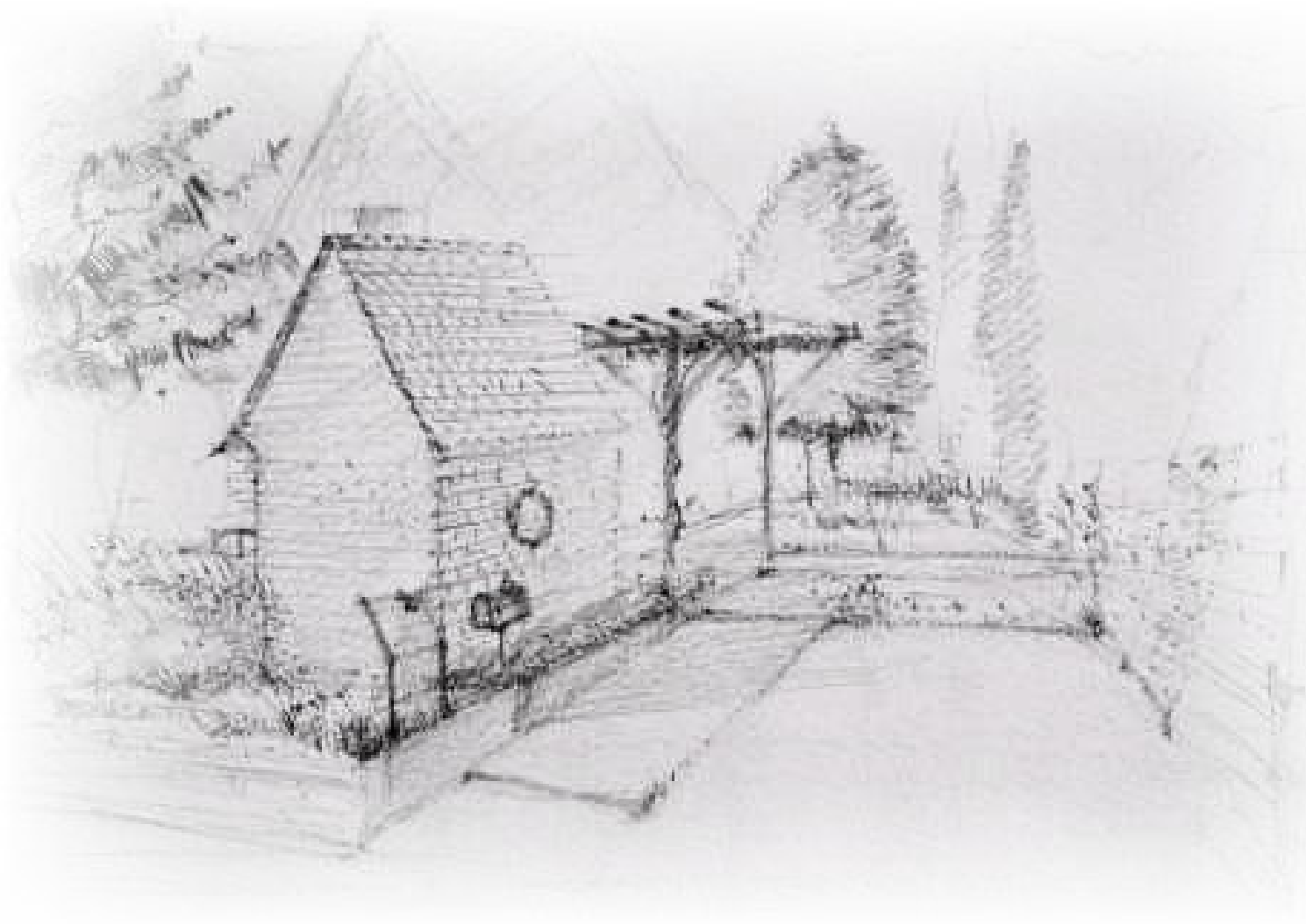
この小さな家を訪ね、

暮らしのひとつひとつを

想像してみれば・・・

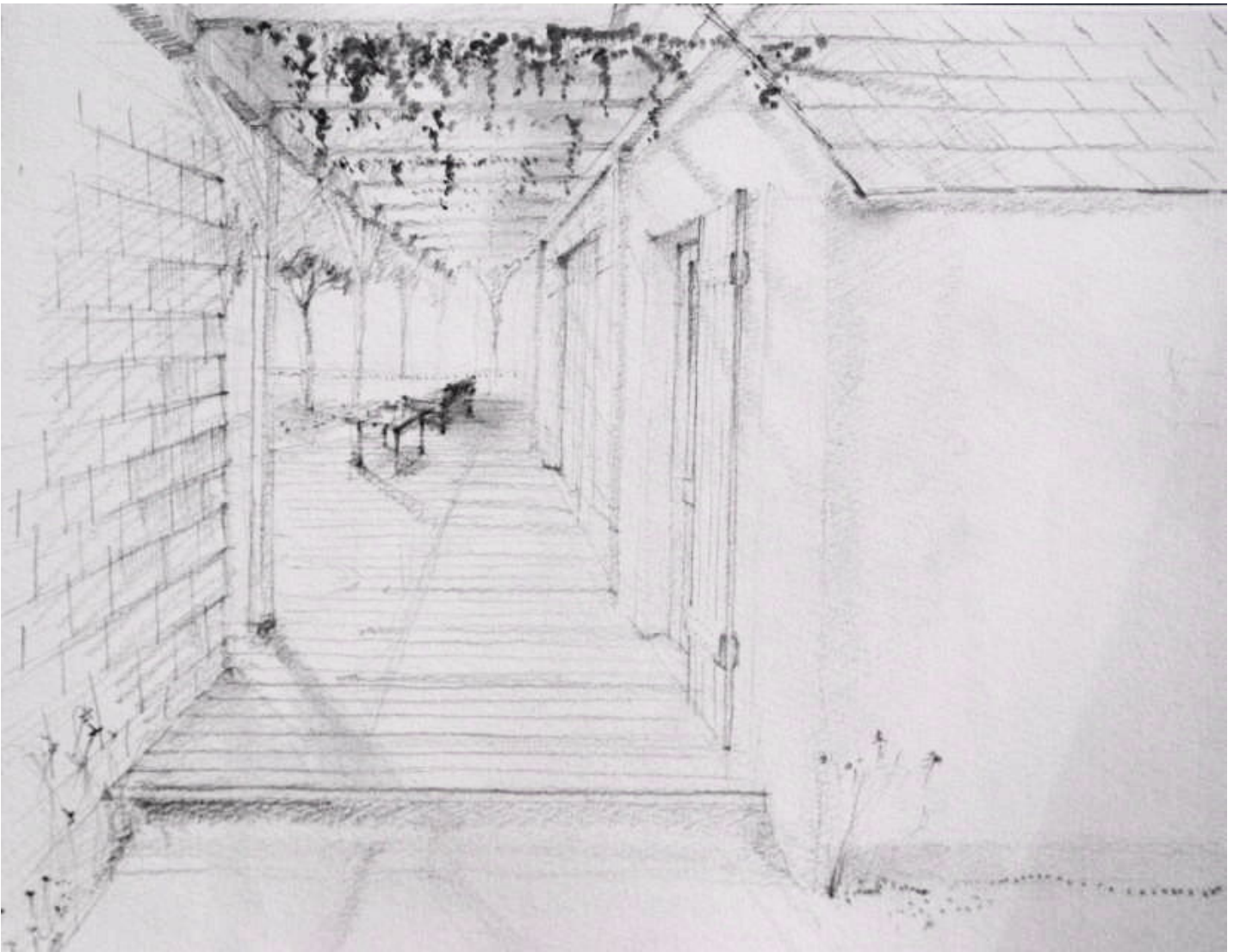
第一章

街に住む家を訪ねる。



街の中では、隠れ家やのような、

生垣と木に、そして小屋に囲まれた家



ずっと、小屋を曲がると

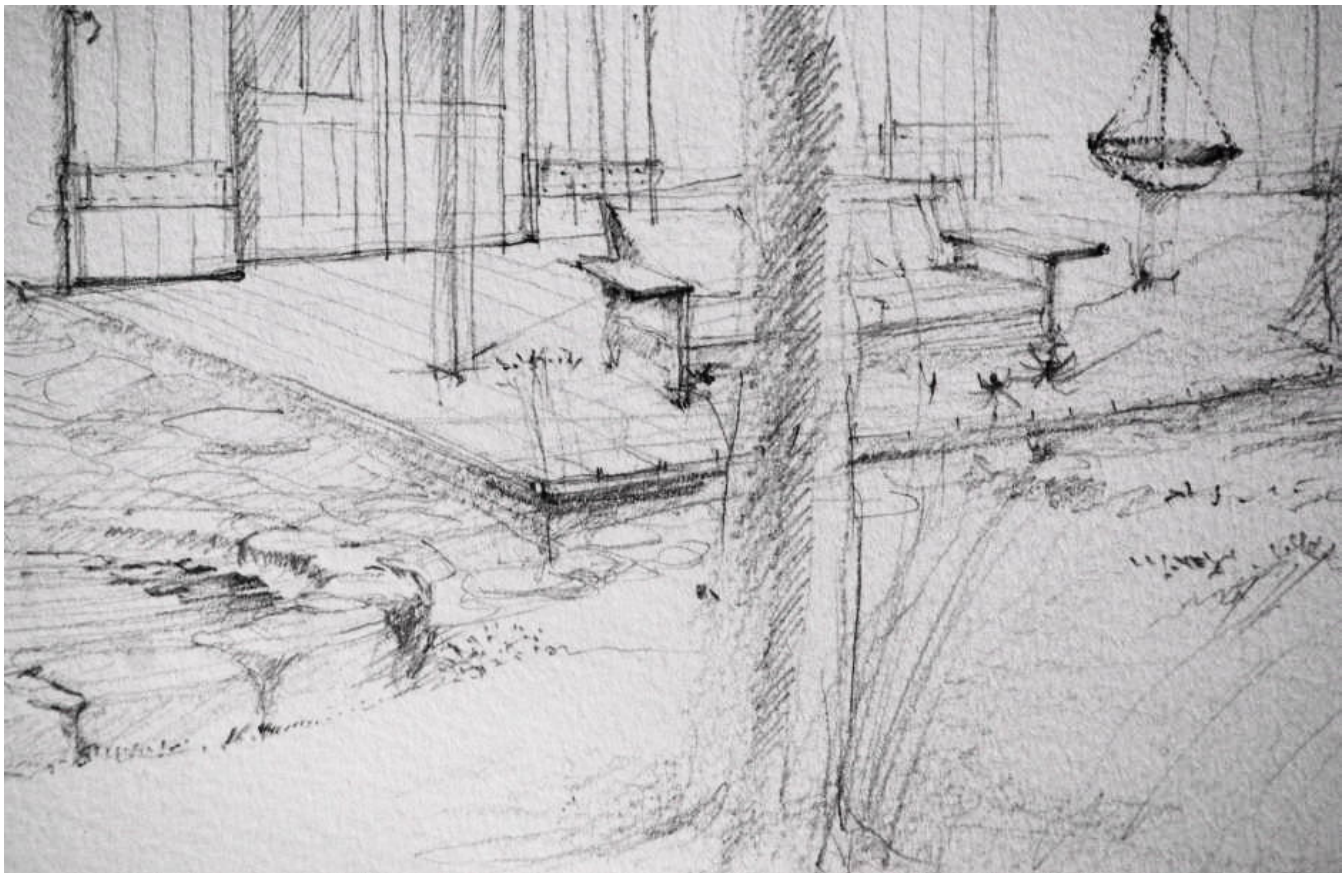
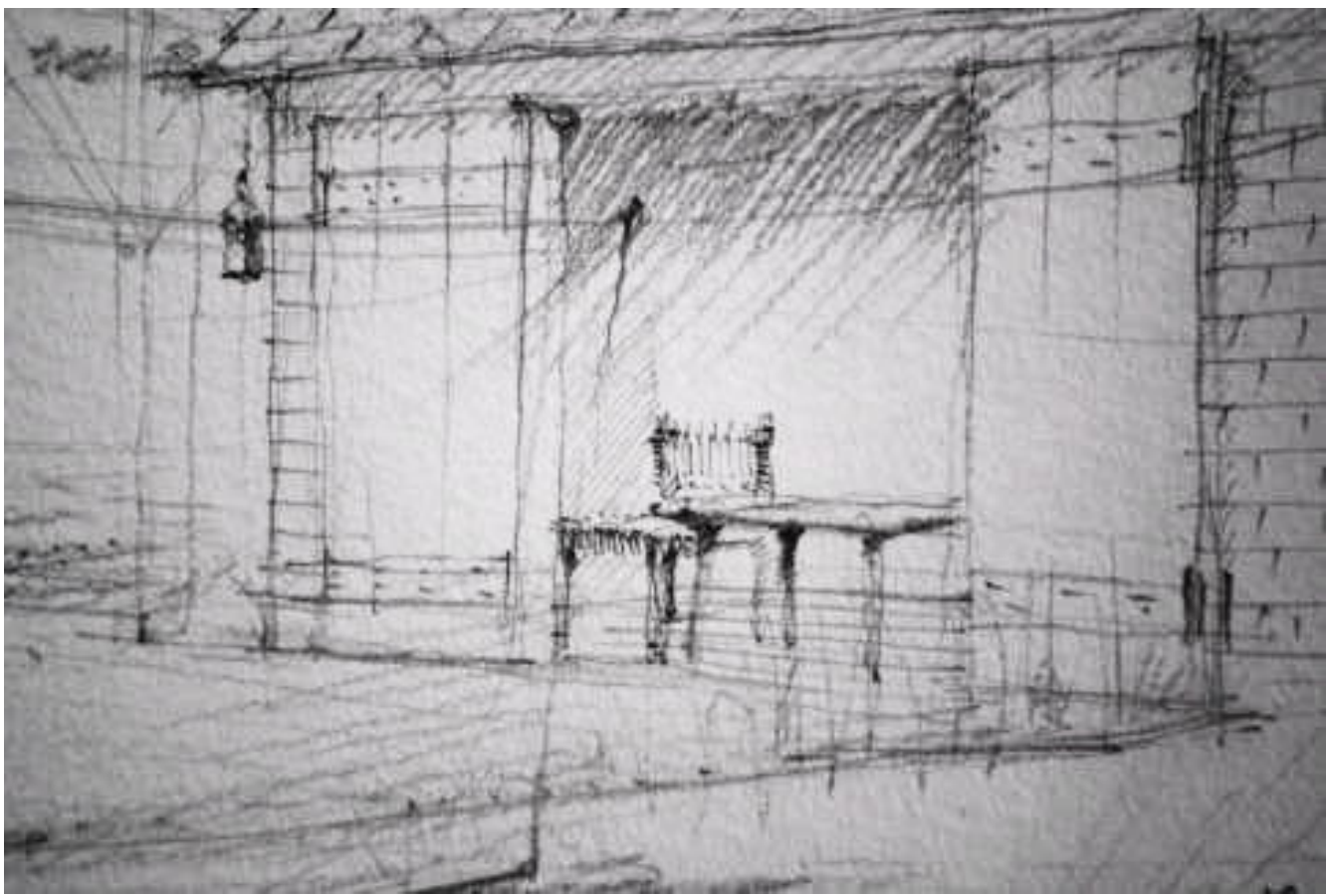
誘われるような長いアプローチは

庭へとデッキが続く、

そこに休息のテーブルとベンチがある。



心地よく囲まれた、この庭の広さ

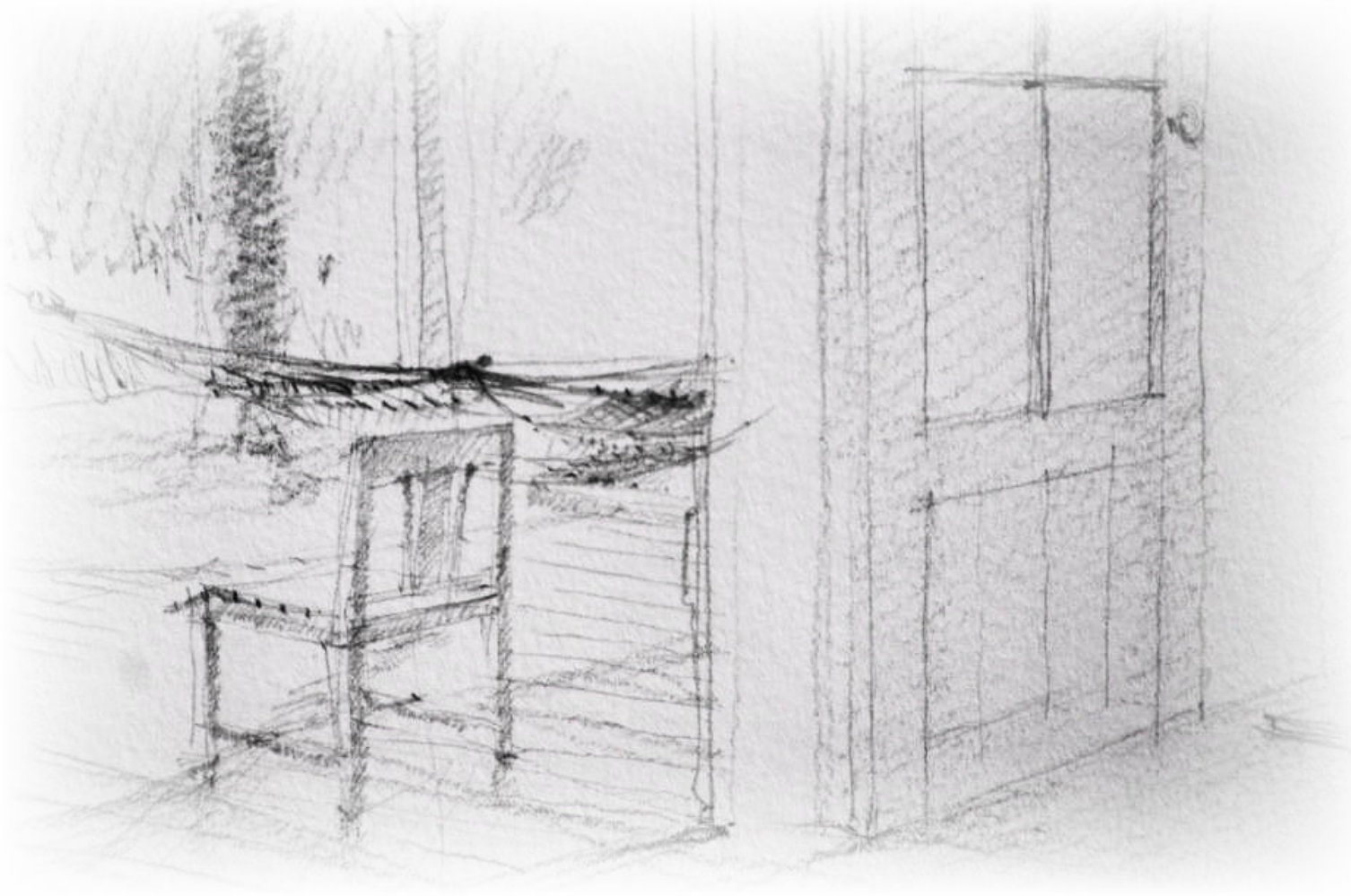


小さな小屋は、ガーデンハウス、

そこには、小さなテーブルと椅子が、

デッキにはベンチ、大きな木と池がある。

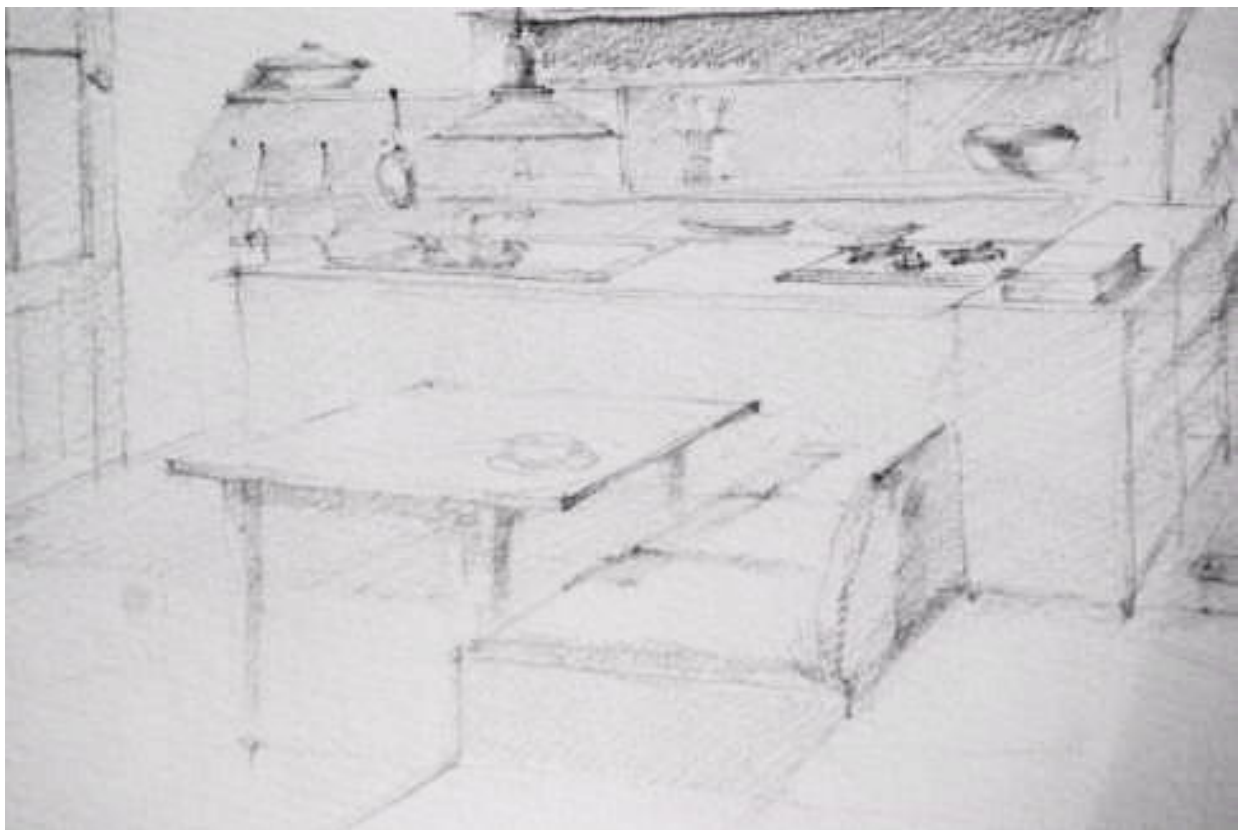
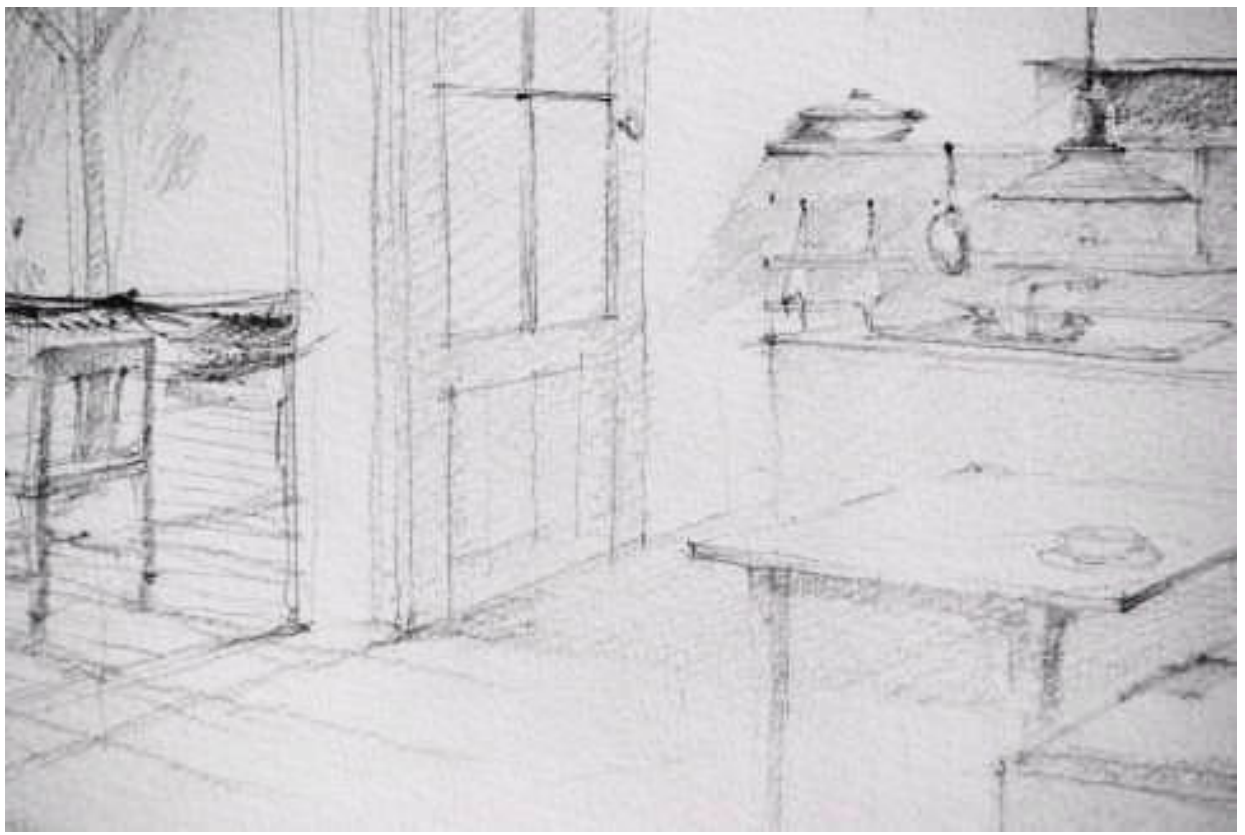
木の落とす影がつくる場所の、この静けさ



風にゆれるハンモック、椅子がひとつ

気に入った居場所がいくつかあれば、

家は、広くなくてもよいということ

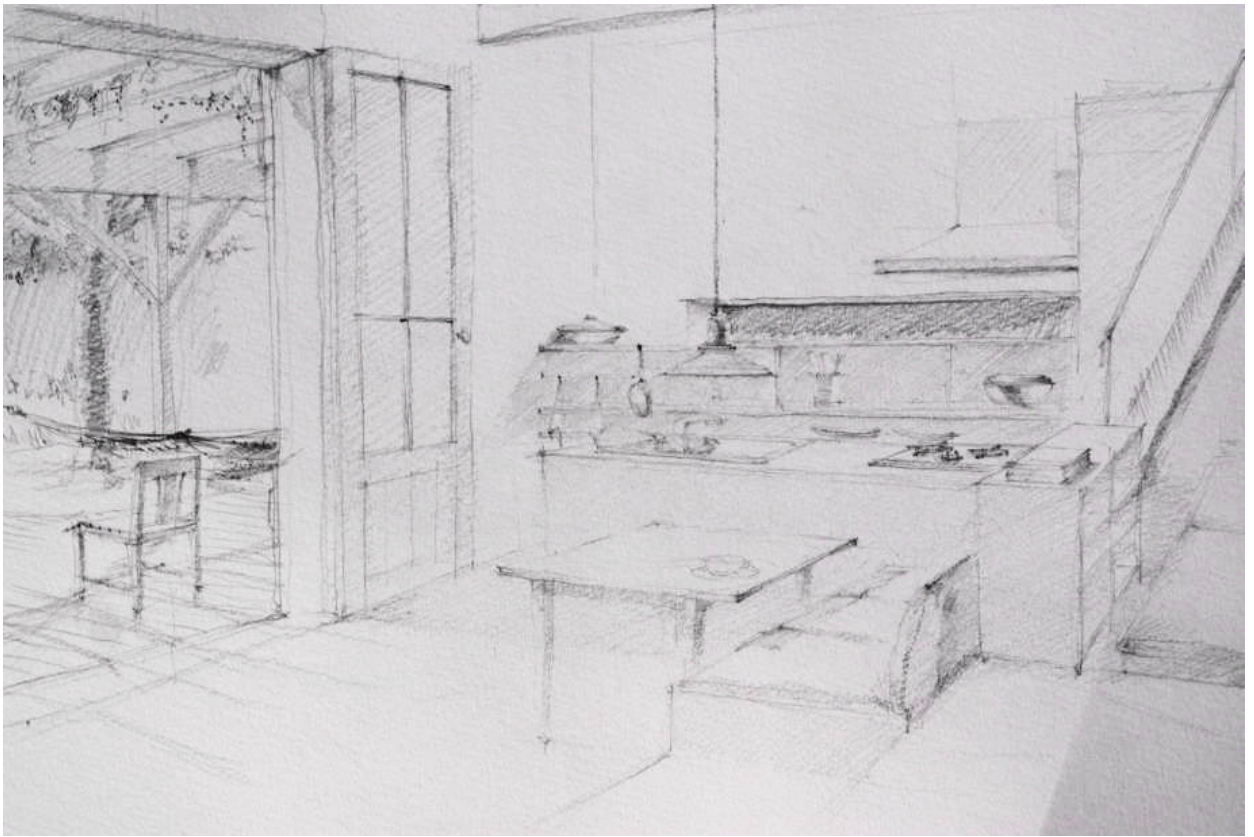
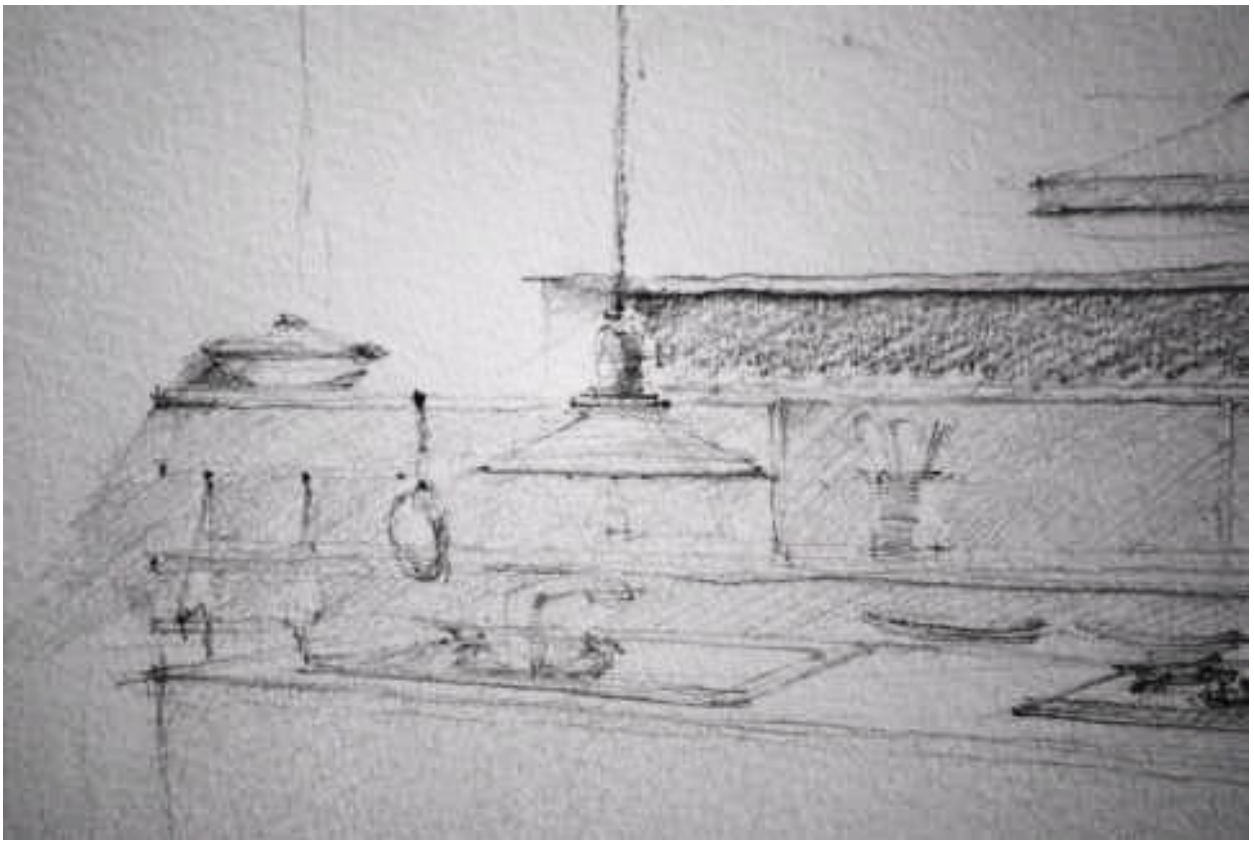


食卓テーブルから、

中庭とデッキに広がる風景、

食卓テーブルのそばに台所、

コンパクトにまとめ、ゆったりと過ごす、



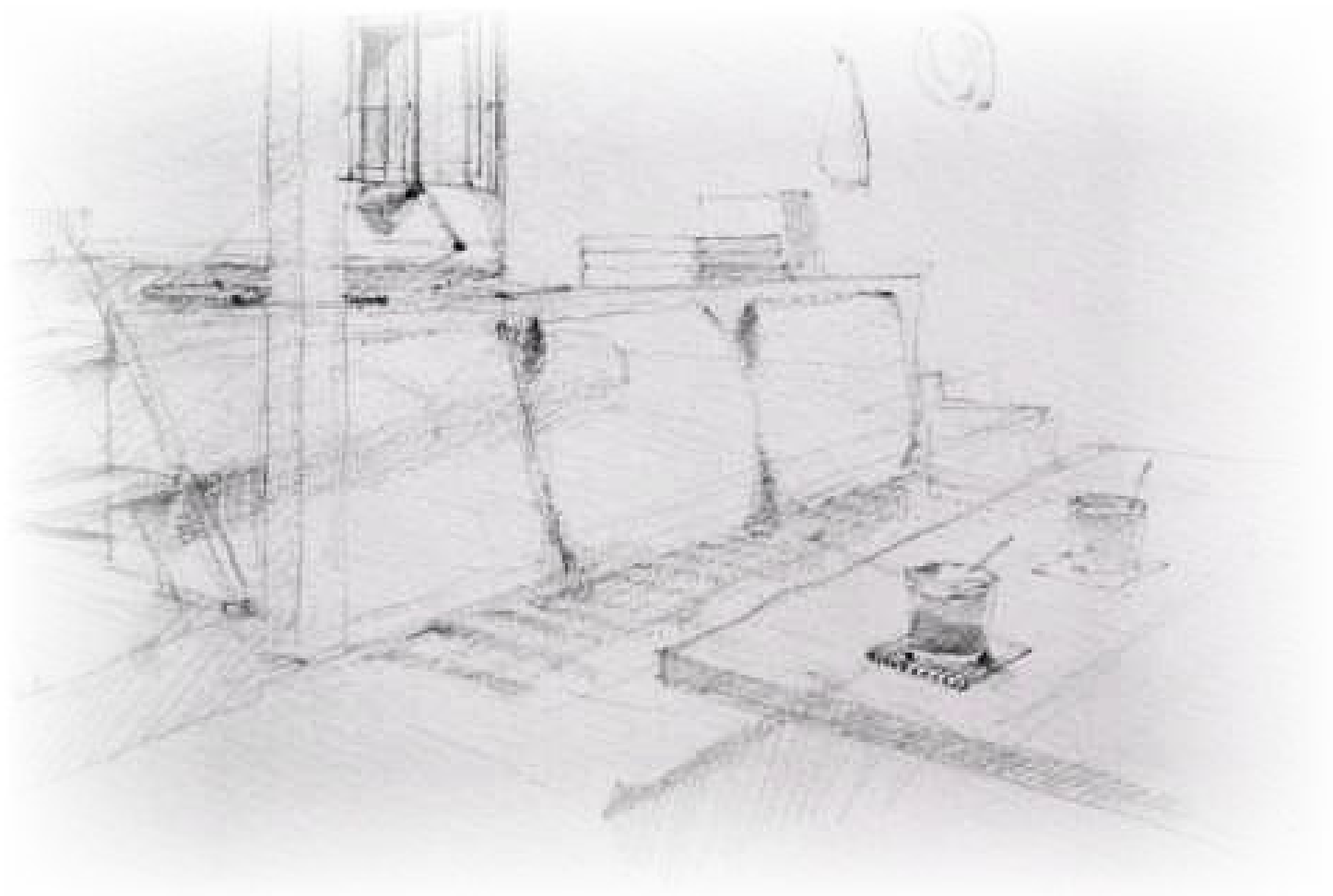
調理する場所と食卓は、

暮らしの中心にあってよい。

これは、小さな家の発想、

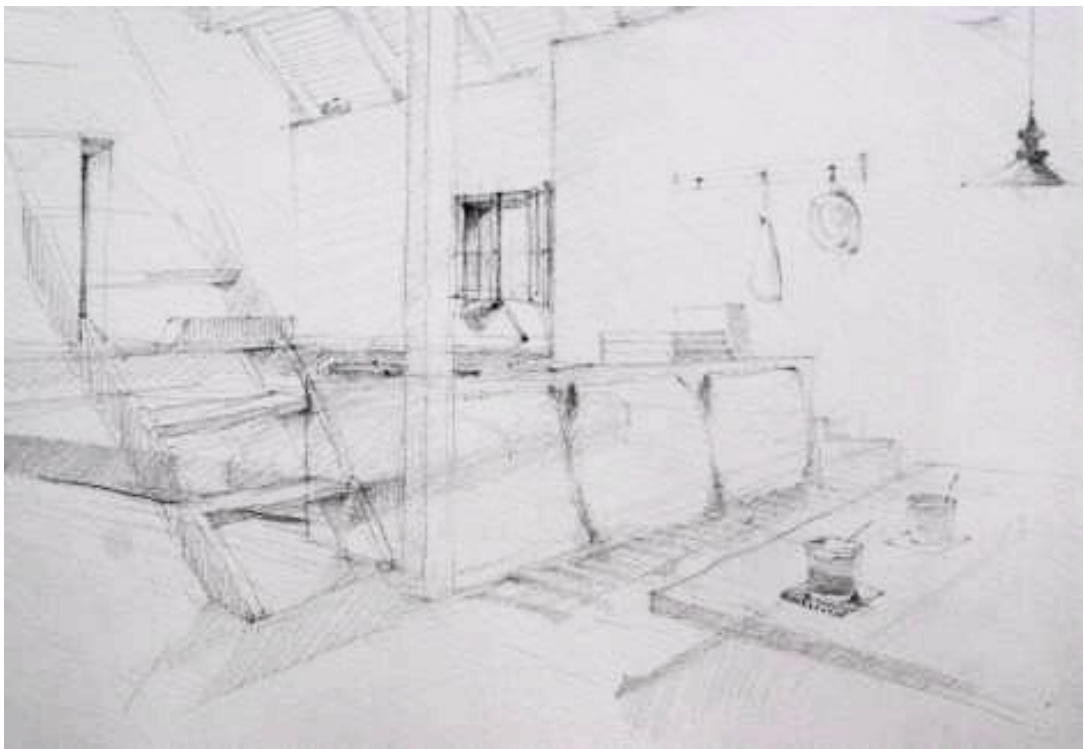
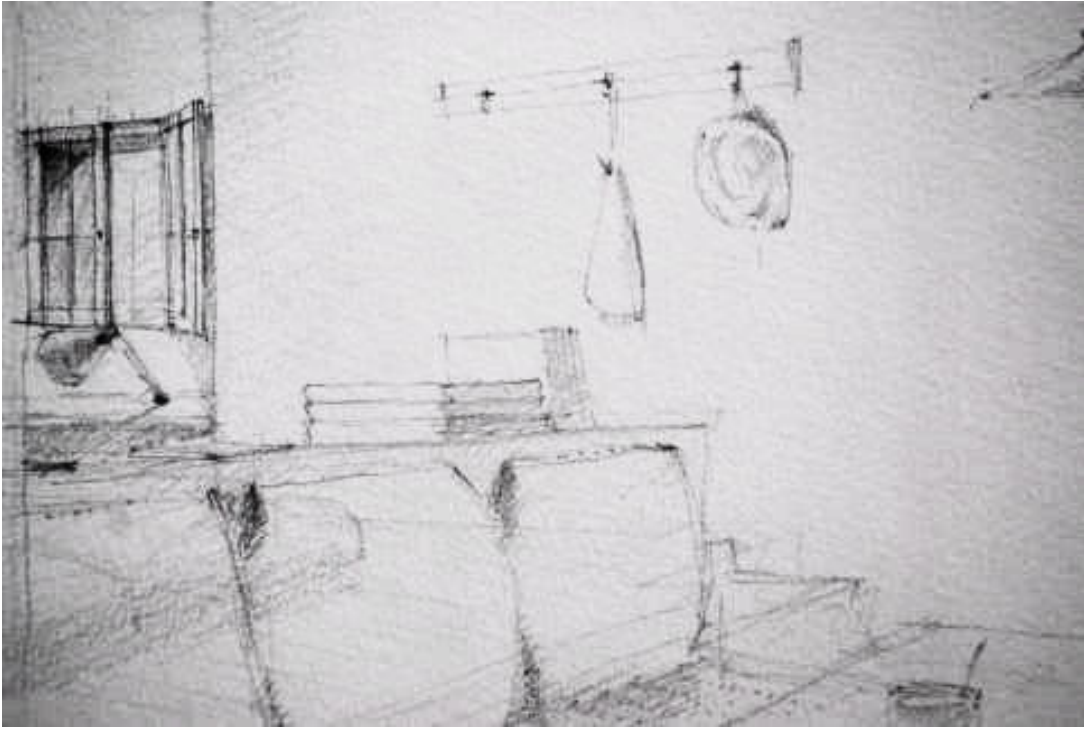
ここでは困ると思われる来客は、

丁重にガーデンハウスへと招こう、



長いベンチは、ゆっくりと過ごす

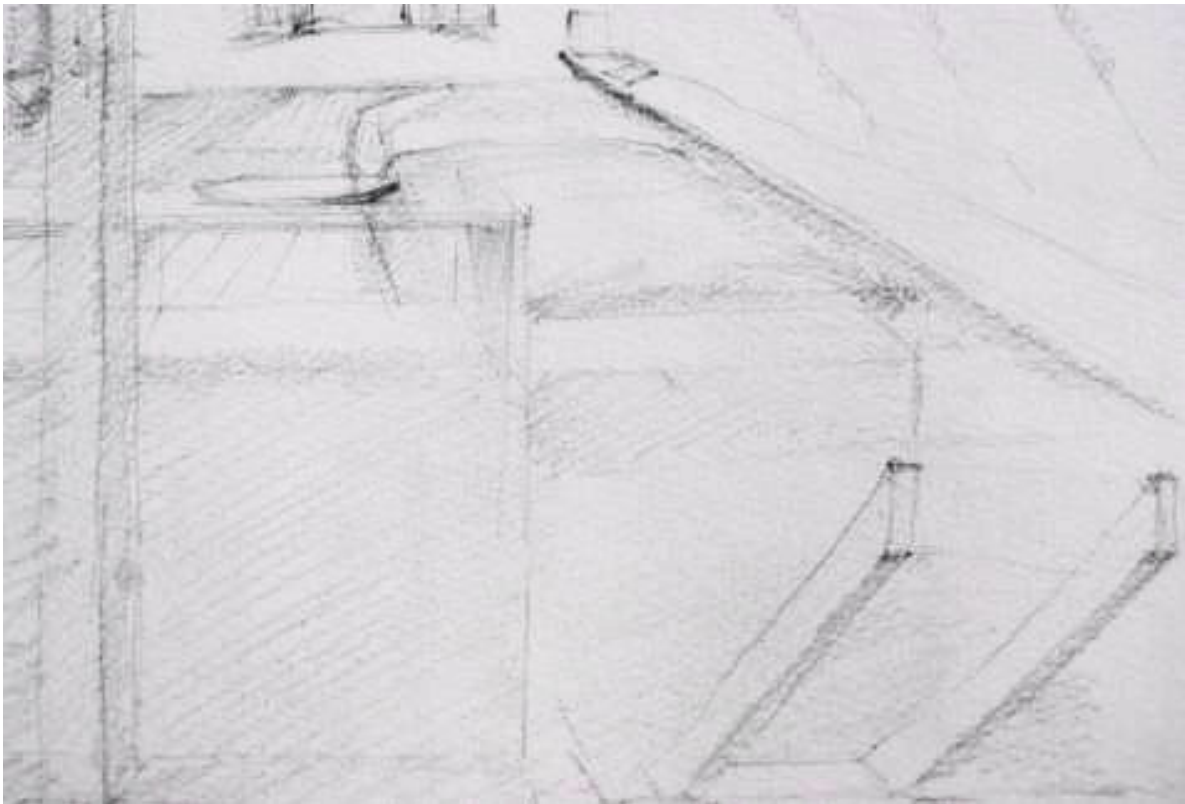
心地よい場所となるだろう、



ベンチの背は本棚、

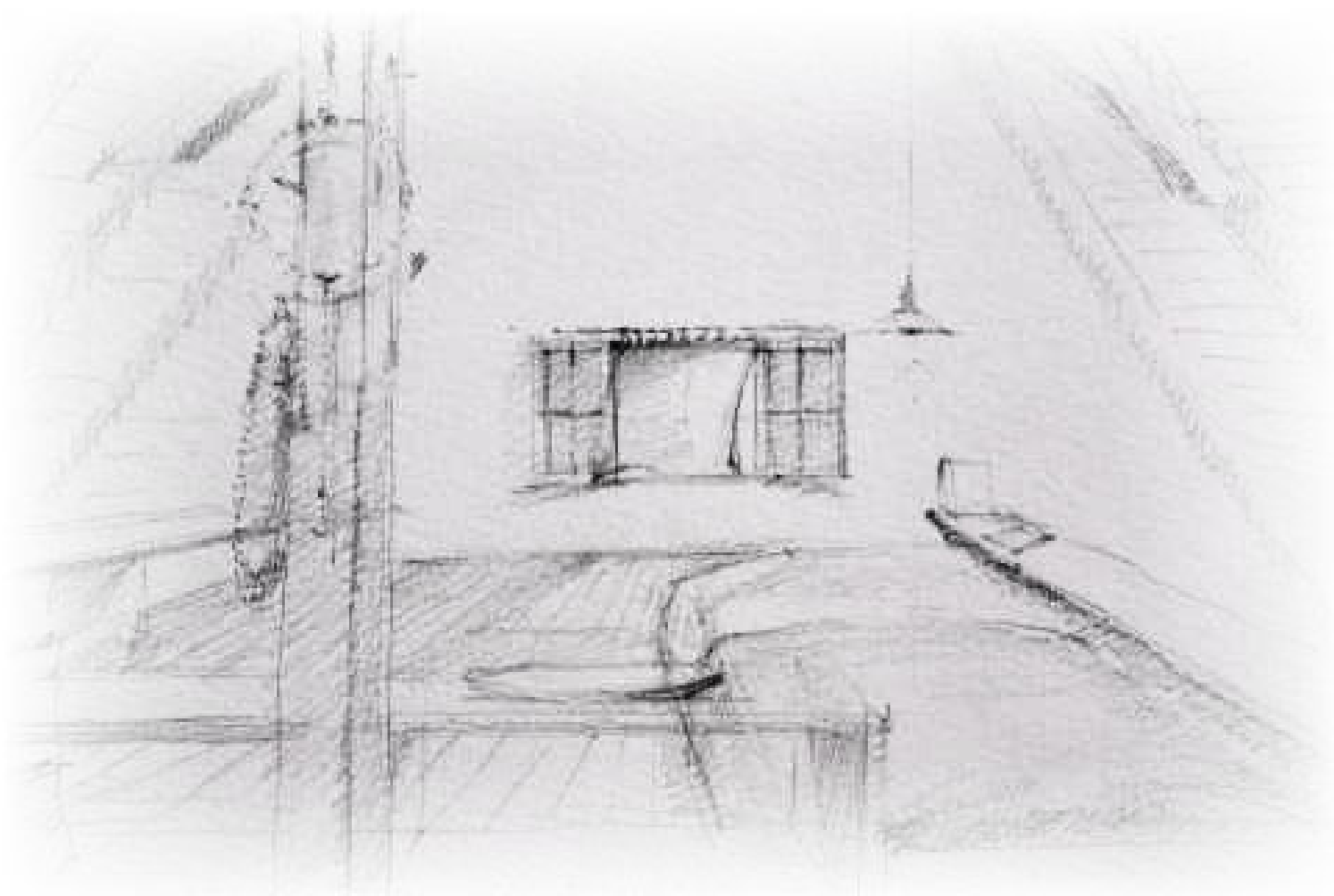
ベンチから少しステップして寝室がある、

このベンチから屋根裏部屋へタラップで上がる。



屋根裏部屋へ上れば暮らしの楽しみが広がる。

家での過ごし方、暮らしの変化を思い描くこと、



子供部屋、寝室それともアトリエか書斎か、

庭

まわりを木々を取り囲む、ゆるやかな小道で表庭(デッキ側)と裏庭(洗濯干し場/キッチンガーデン)を結ぶ。台所から庭、デッキからキッチンガーデンまでのアプローチをたどれば、内と外をつなぐ庭を楽しむことができる。

アウトドアキッチン

食卓テーブルは、デッキに持ち出せるような身軽な生活、庭に水場もつくる。パン窯もつくりたい。りっぱな野外キッチン、手作りのアウトドアのダイニングが出来上がる。

寝室と収納

寝室のまわりを取り囲むようにして長い収納棚がある。

気に入った衣服を必要な分さえ選んでおけば、

この棚でじゅうぶん収納できる。物を持ち過ぎず、

よく選び、良いものだけをおけばよい。

小窓の前に手紙を書き、本が読めるほどのコーナーがある。

その窓からは、北のやさしい光が届く、

屋根裏部屋に上ろう

屋根裏部屋へ上ろう、ここはちょっとした書斎になる。

アトリエでもよい、適度な広さで屋根裏の楽しさがある。

暮らしに応じて工夫をしてゆける部屋にもなるだろう。

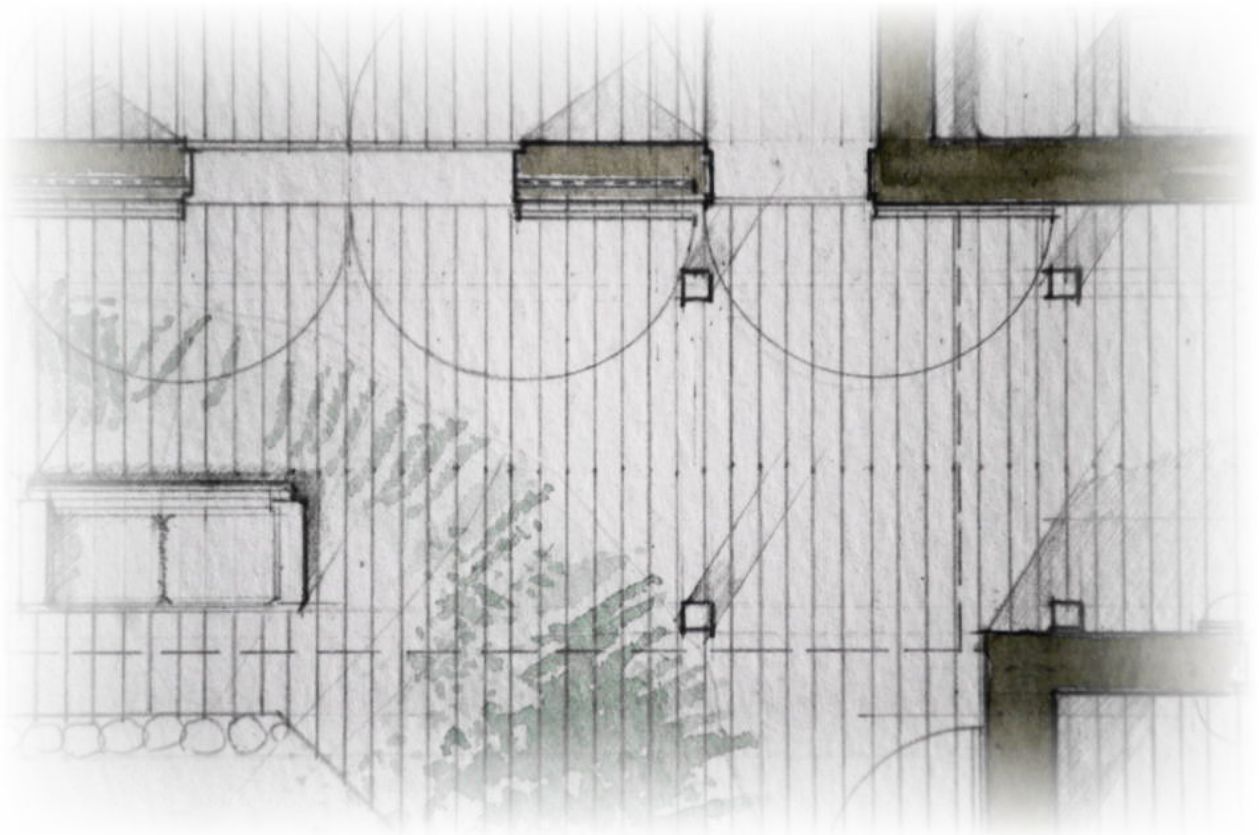
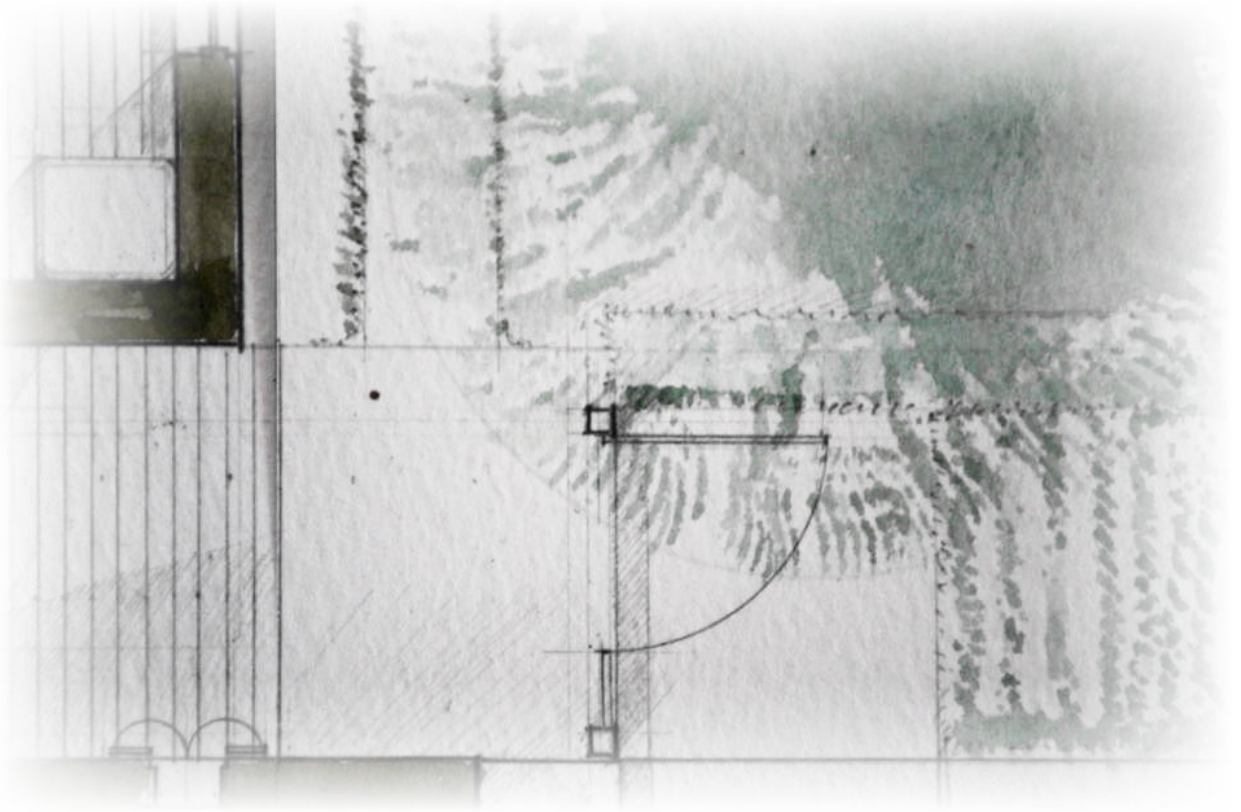
10年先の暮らしの変化は、創意工夫をして楽しむ。

小さくとも畑を耕そう

暮らしが簡素であればよい

第二章

ゆっくりと、もう一度



パーゴラ下のエントランス、扉を開け・・・

デッキから、小さな玄関へ

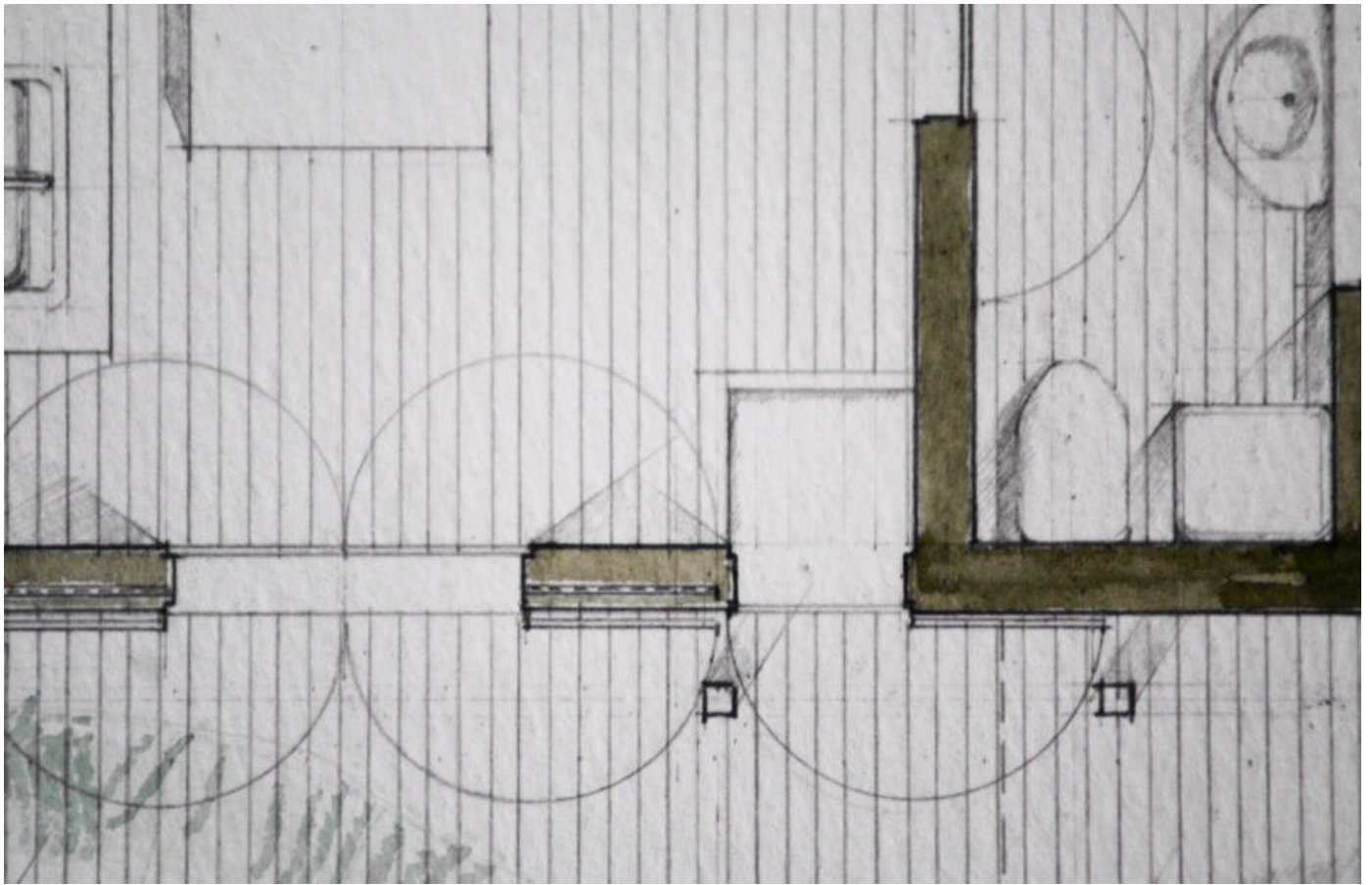


大きく育った木の影にベンチを置いて

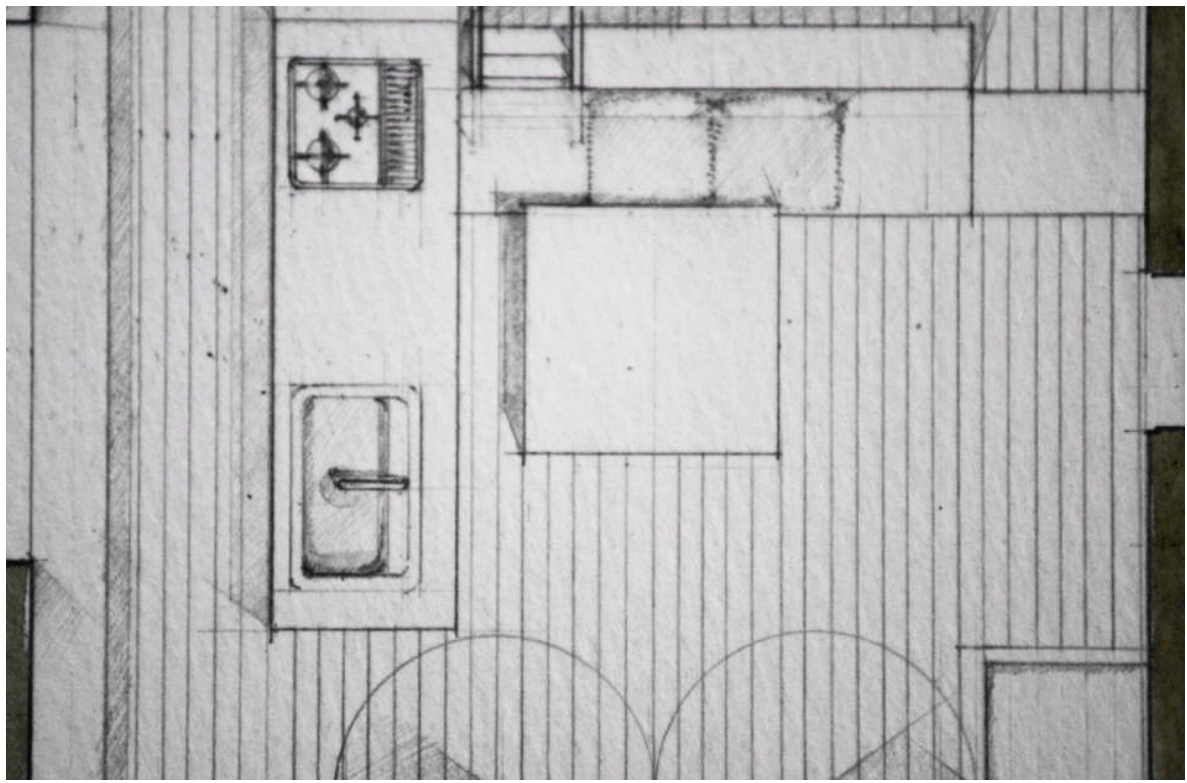


デッキで結ぶガーデンハウス、

お茶が飲めるほどの広さで、

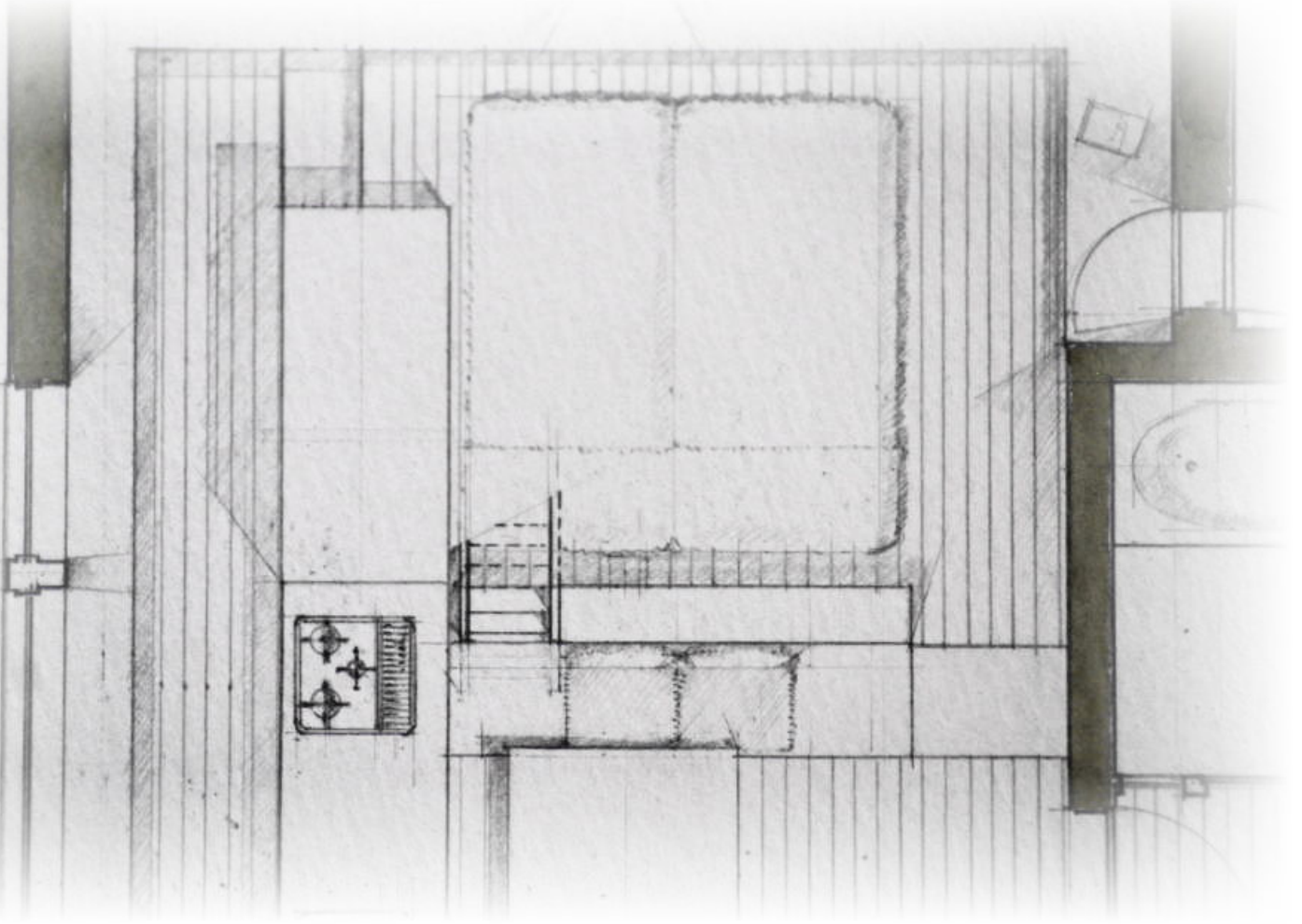


小さな玄関、大きな窓、そして水まわり、

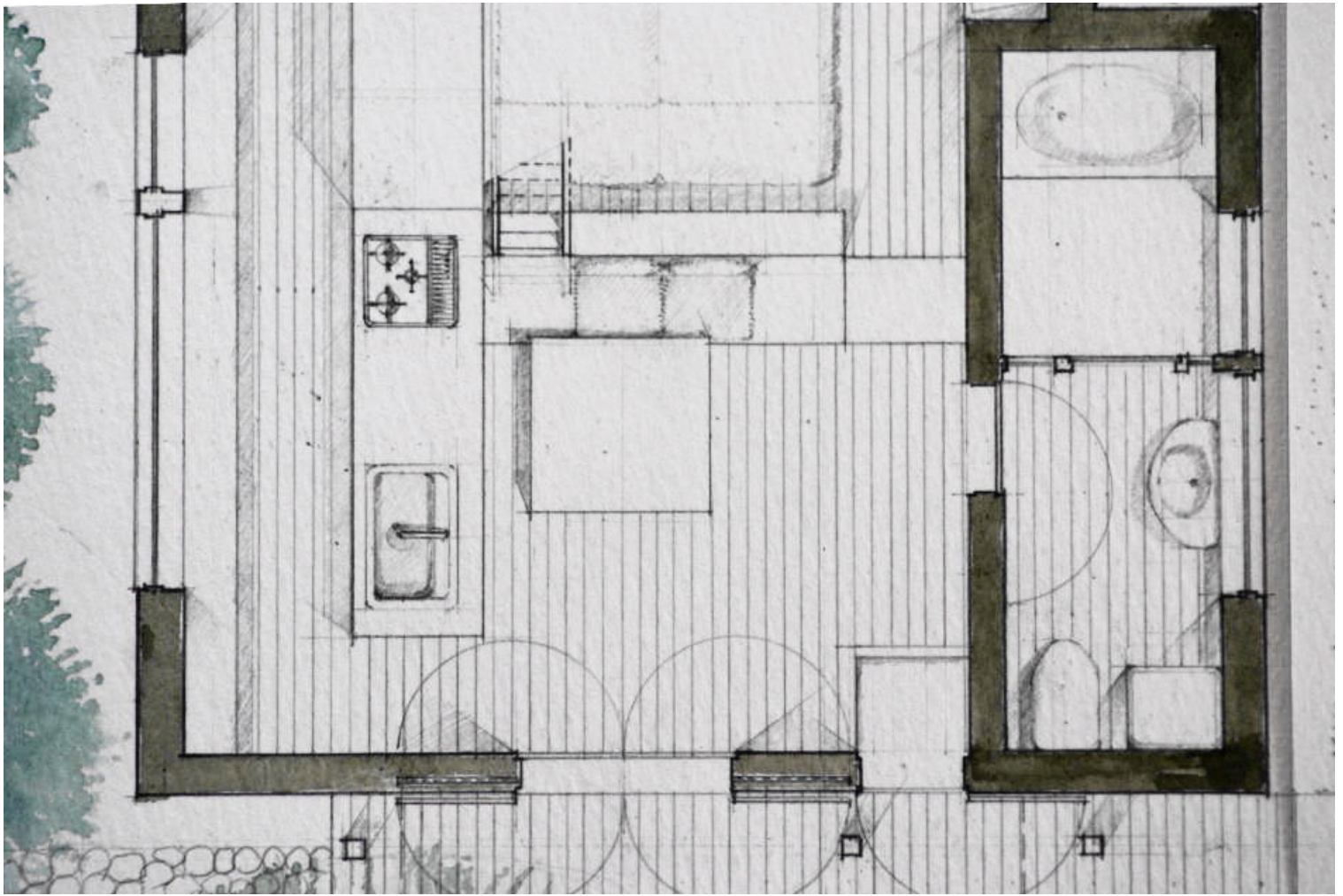


食卓テーブルを台所とベンチで囲む、

浴室・洗面からは、キッチンガーデンが見える。

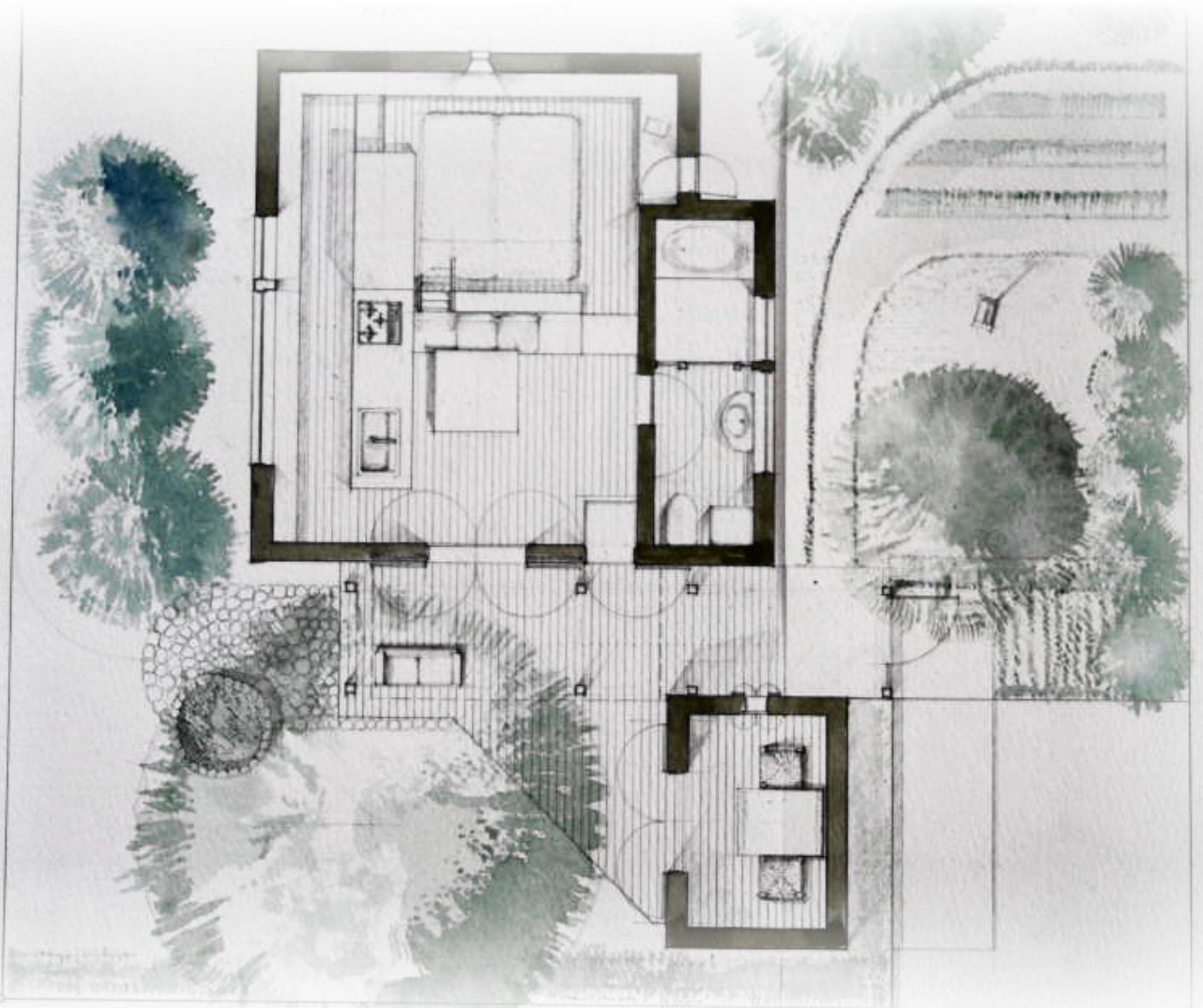


ステップして、収納スペースに囲まれた寝室、

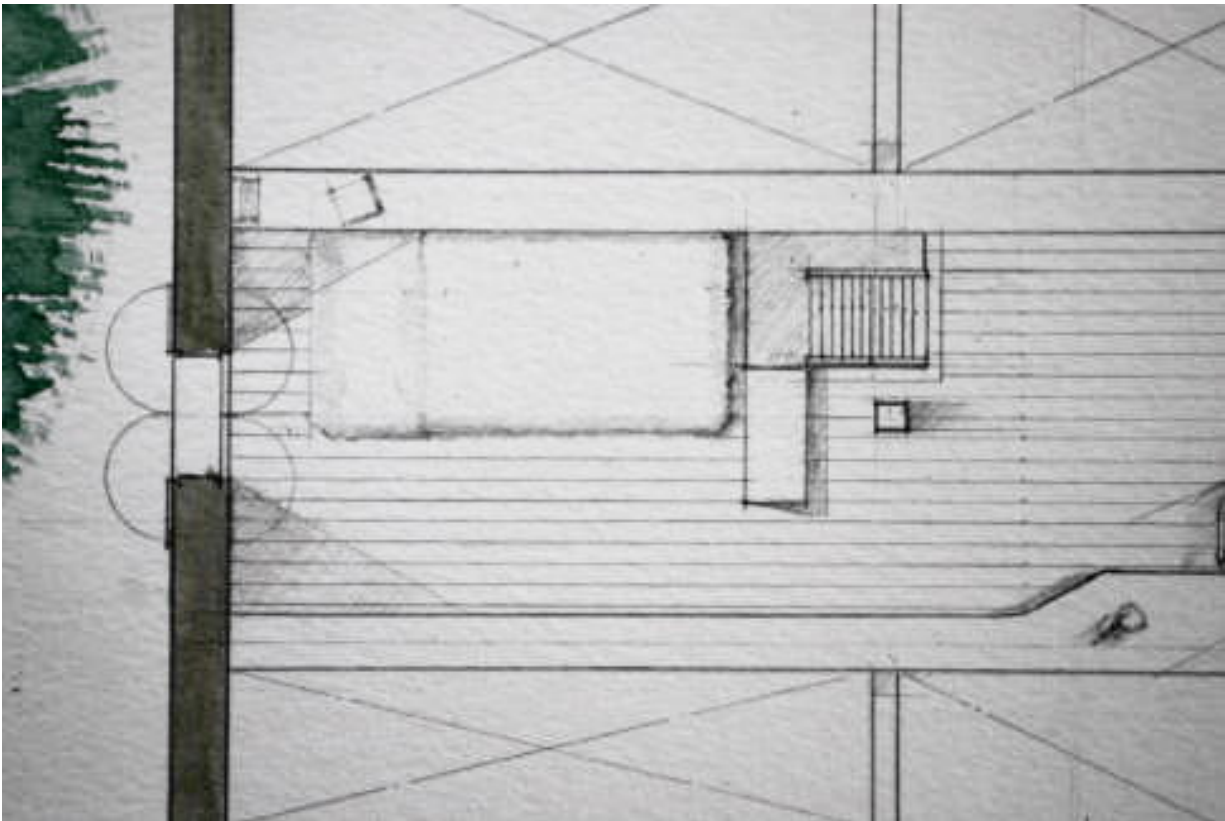
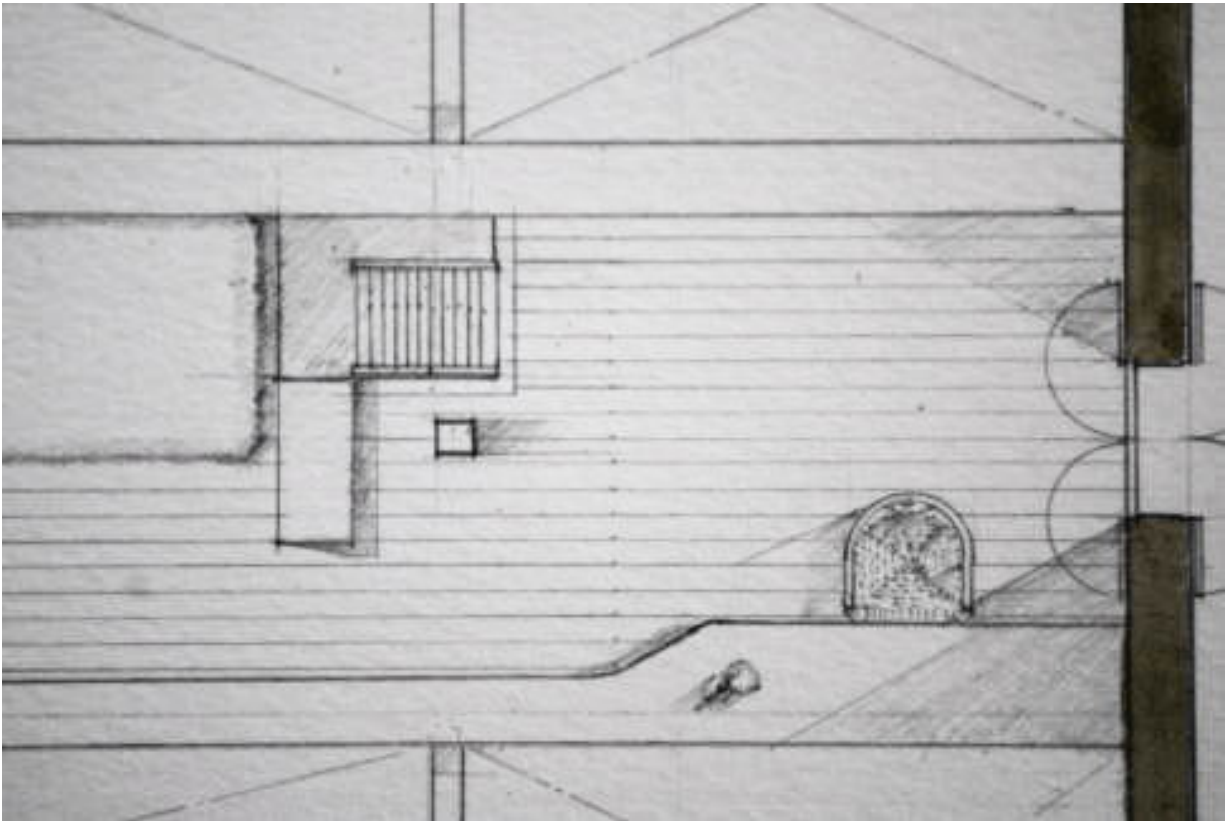


ダイニングテーブルを中心に

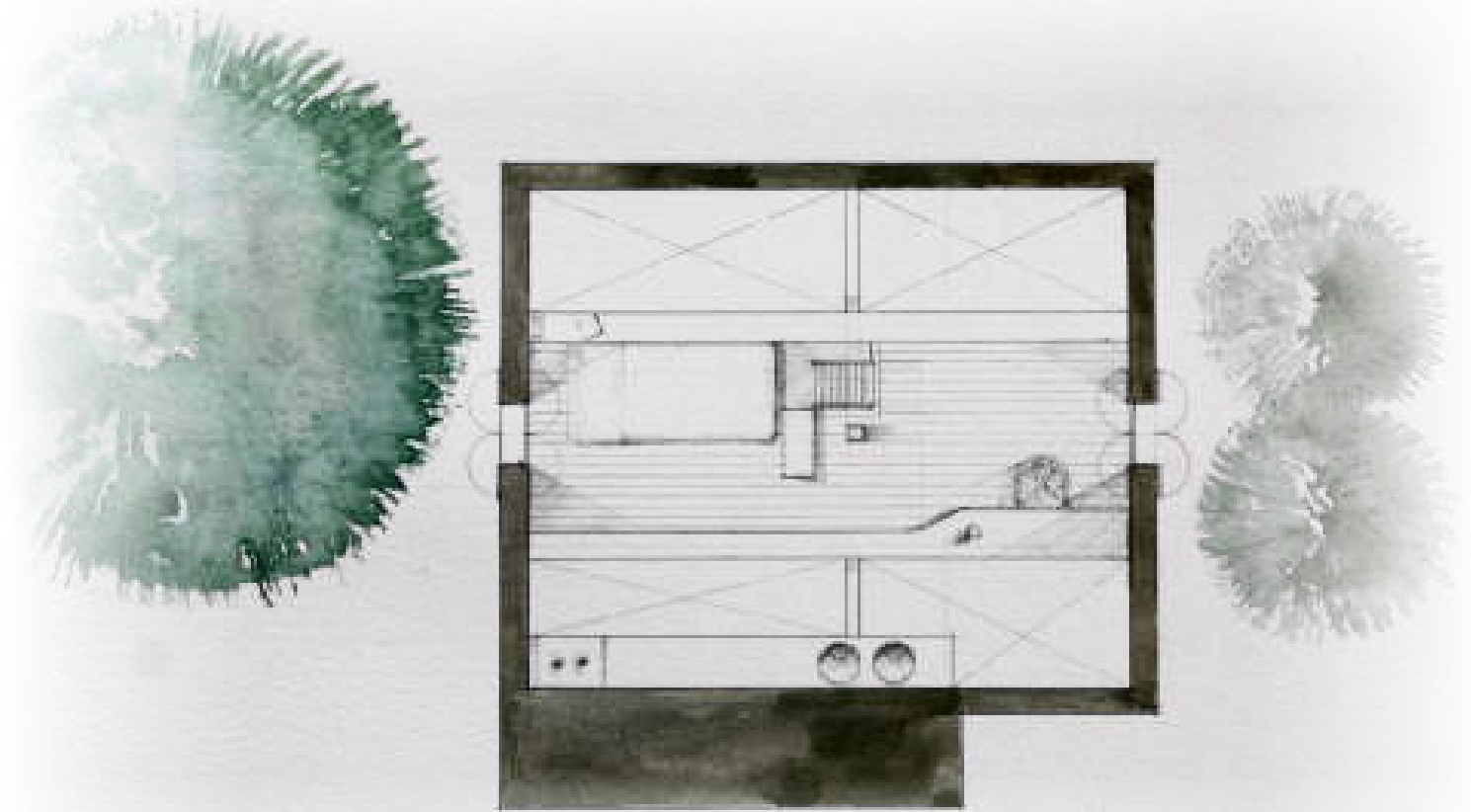
水まわりと寝室の構成、



敷地全体、庭と木の位置関係、



屋根裏部屋を寢室と書斎にして描くと、



屋根裏部屋の全体、

木を植える約束

小さな苗木を植え、育てよう！

見守り続けていけば、りっぱな木になる。やがて

庭や家のまわりに心地よい居場所をつくってくれるだろう。

木と共に暮らす家を考えてみる。たとえ、小さくとも畑を耕そう。

ローコストな家を考えよう、そのためには、暮らしそのものが簡

素であればよい、簡潔な答えを持とう。

これからさらに暑い日々を迎えることは誰もが知っている。

しかし、こもれびが揺れる緑の中を歩く人の笑顔、

考えることはただひとつ、どんな場所で暮らし、季節

の中でどう時を過ごしてゆくかということではないだろうか、

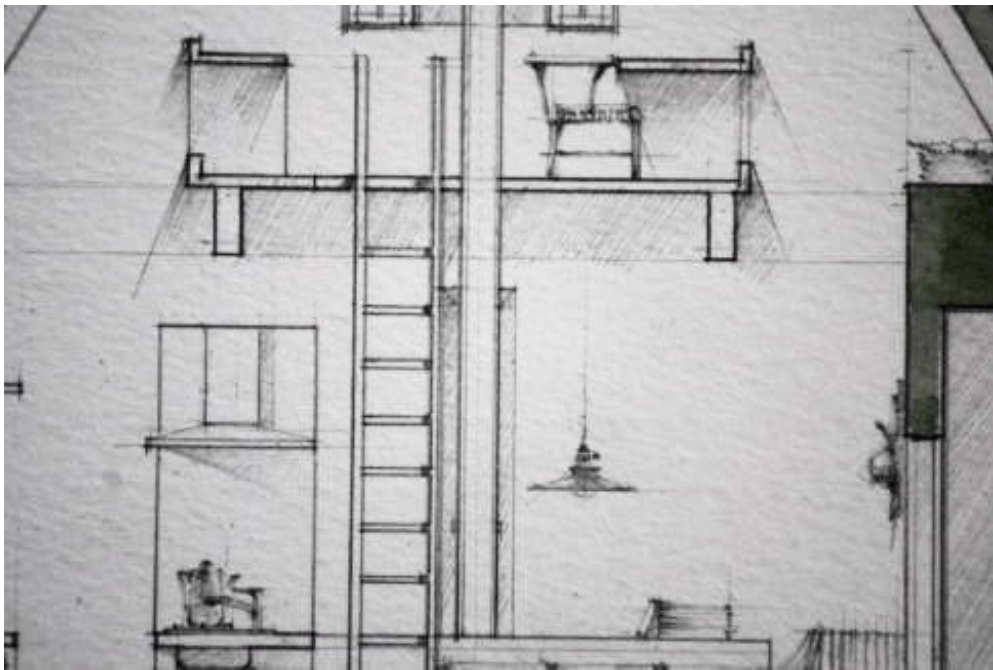
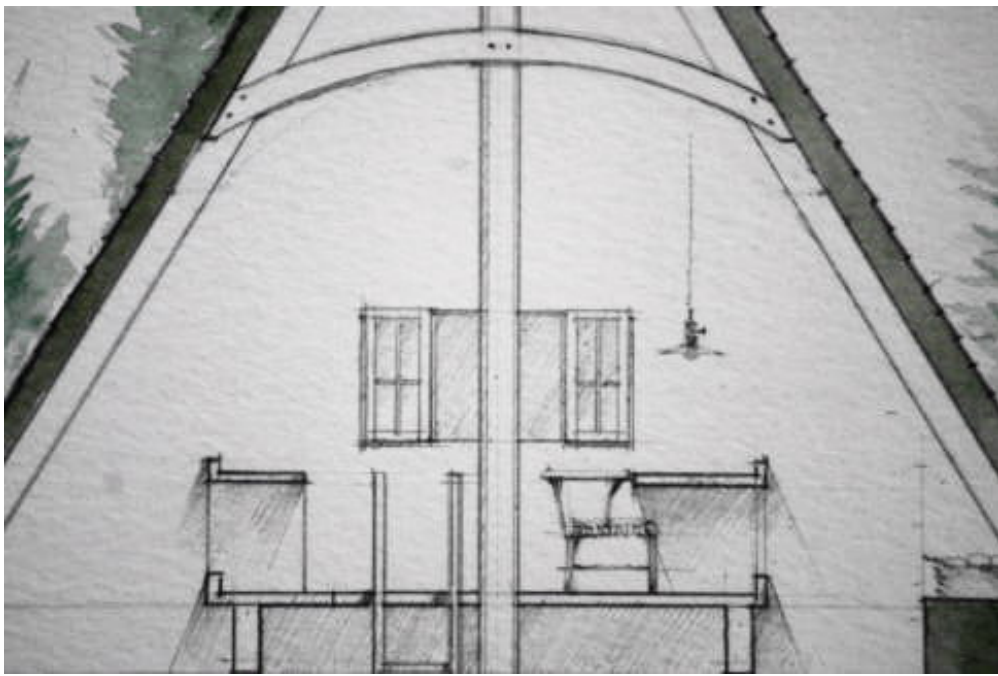
家に大切なことは何だろう、

家に何もかも求めるのはよそう、

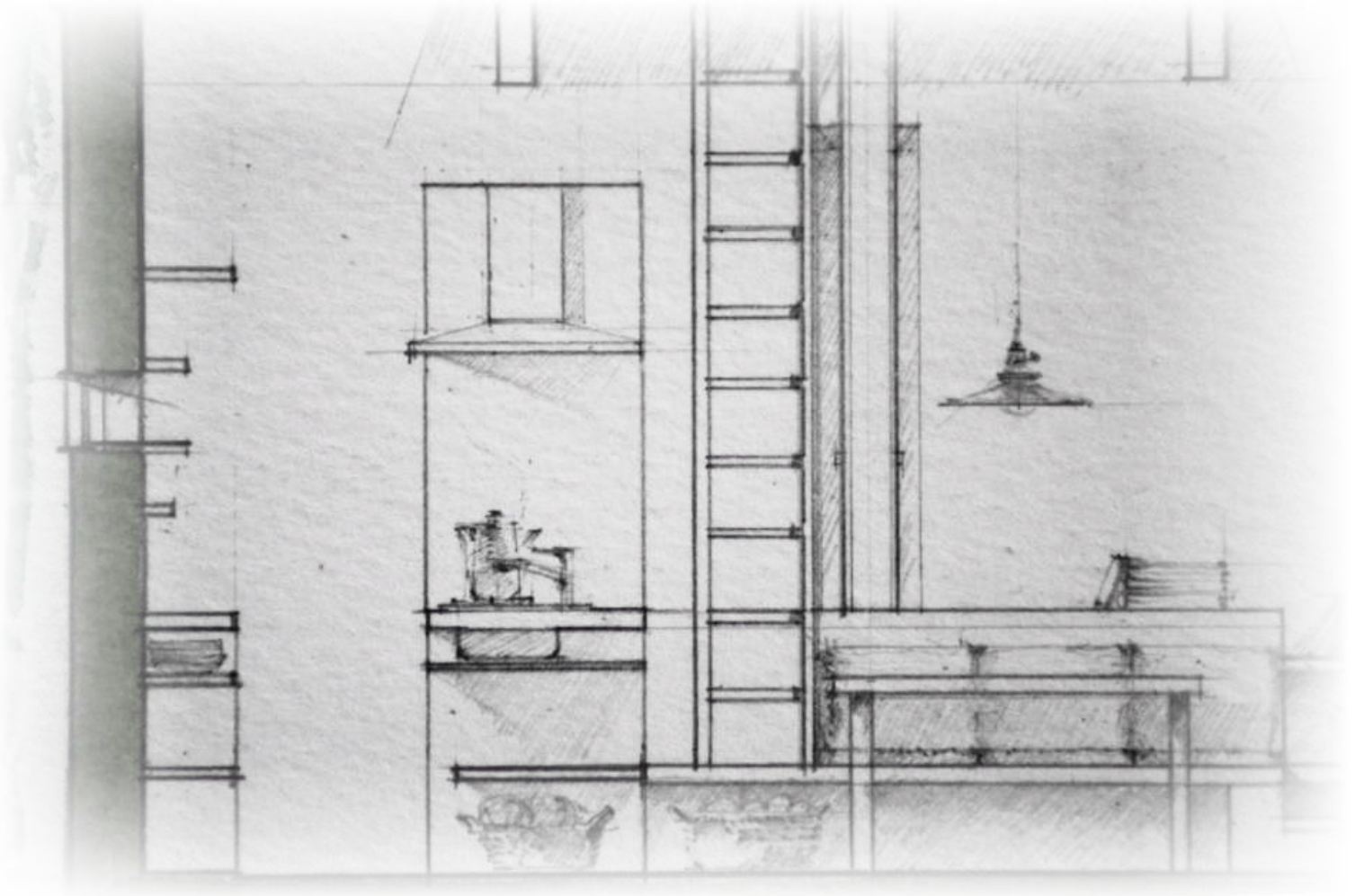
暮らしの創意工夫を楽しむ、

第三章

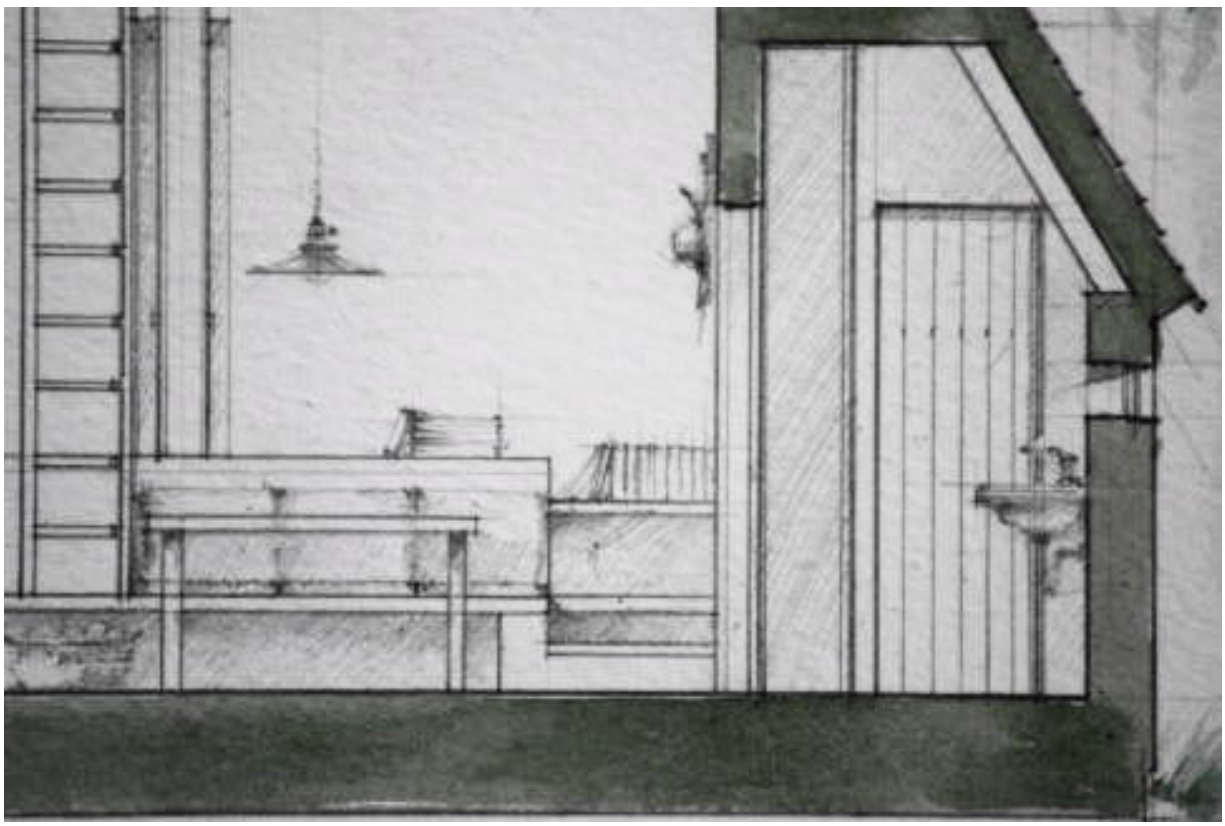
暮らしをイメージし、



屋根裏部屋の書斎とその階下



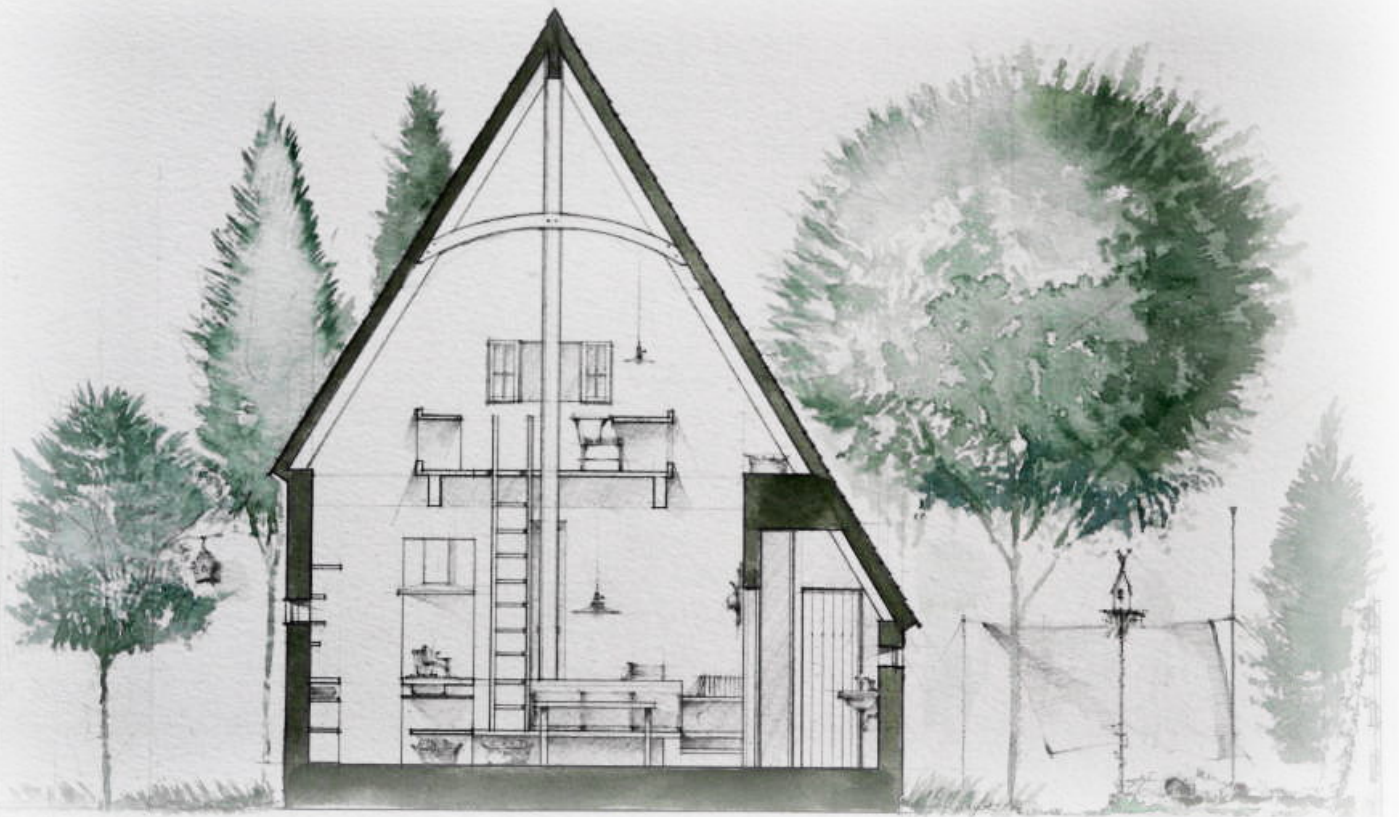
ダイニングと台所、そしてタラップ



食卓テーブル、ステップそして洗面所

洗面所から洗濯干し場と

キッチンガーデンが見える、



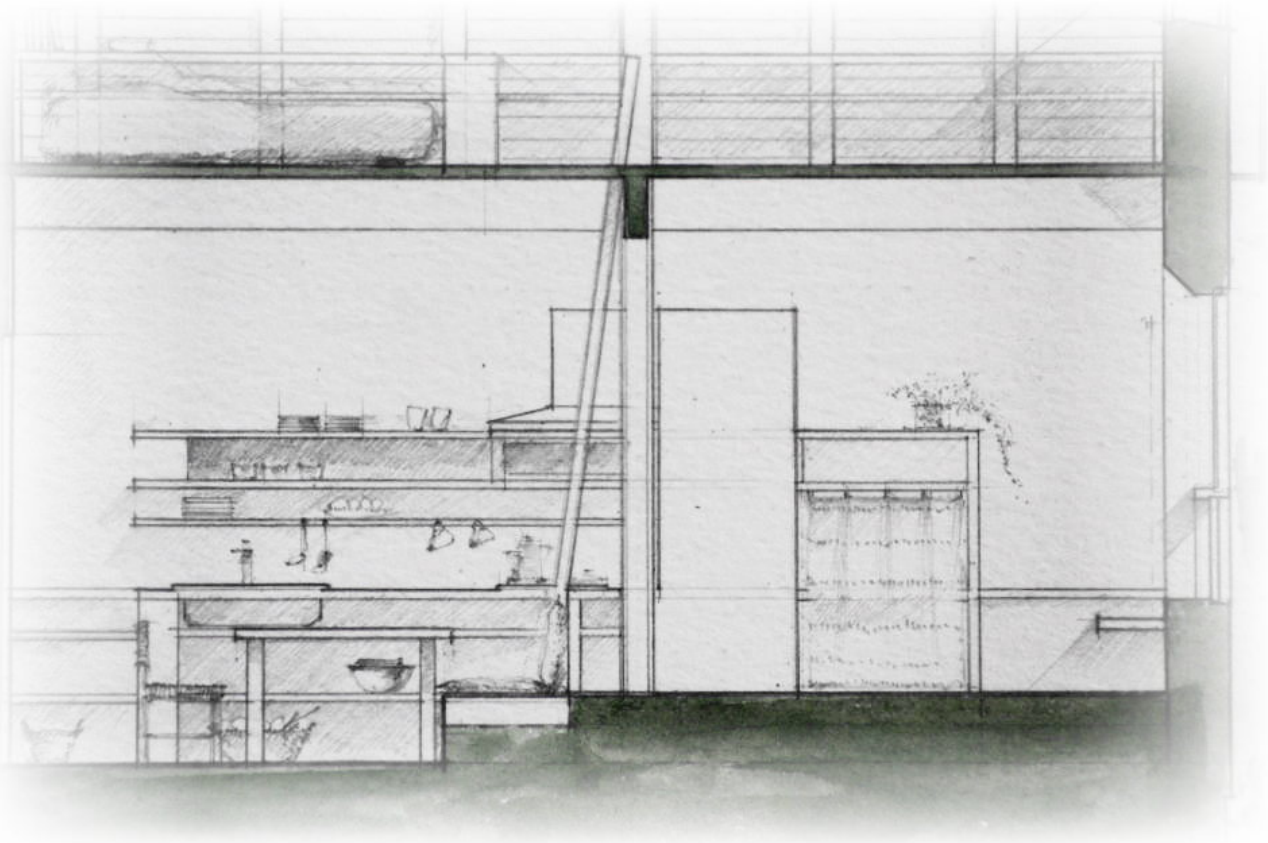
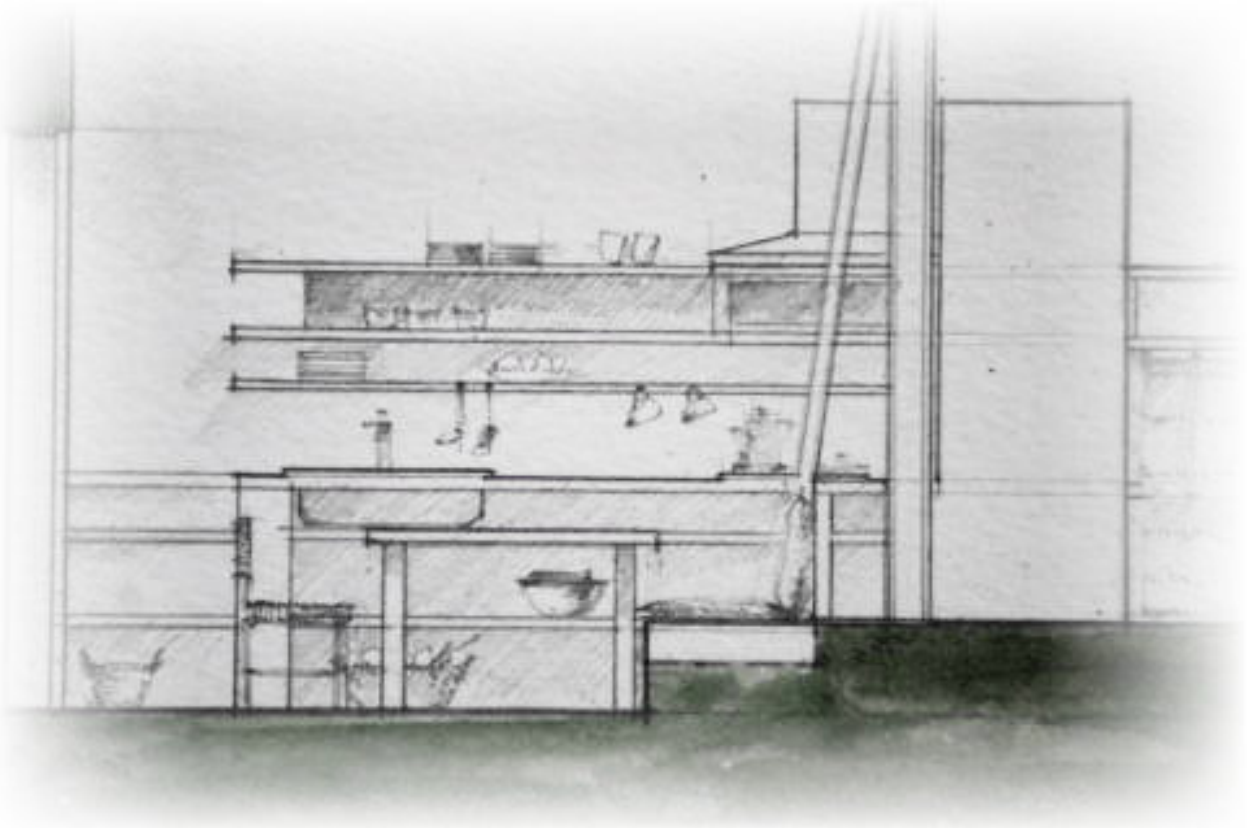
家と木の位置、木影と風の流れを考える。



キッチンガーデン、

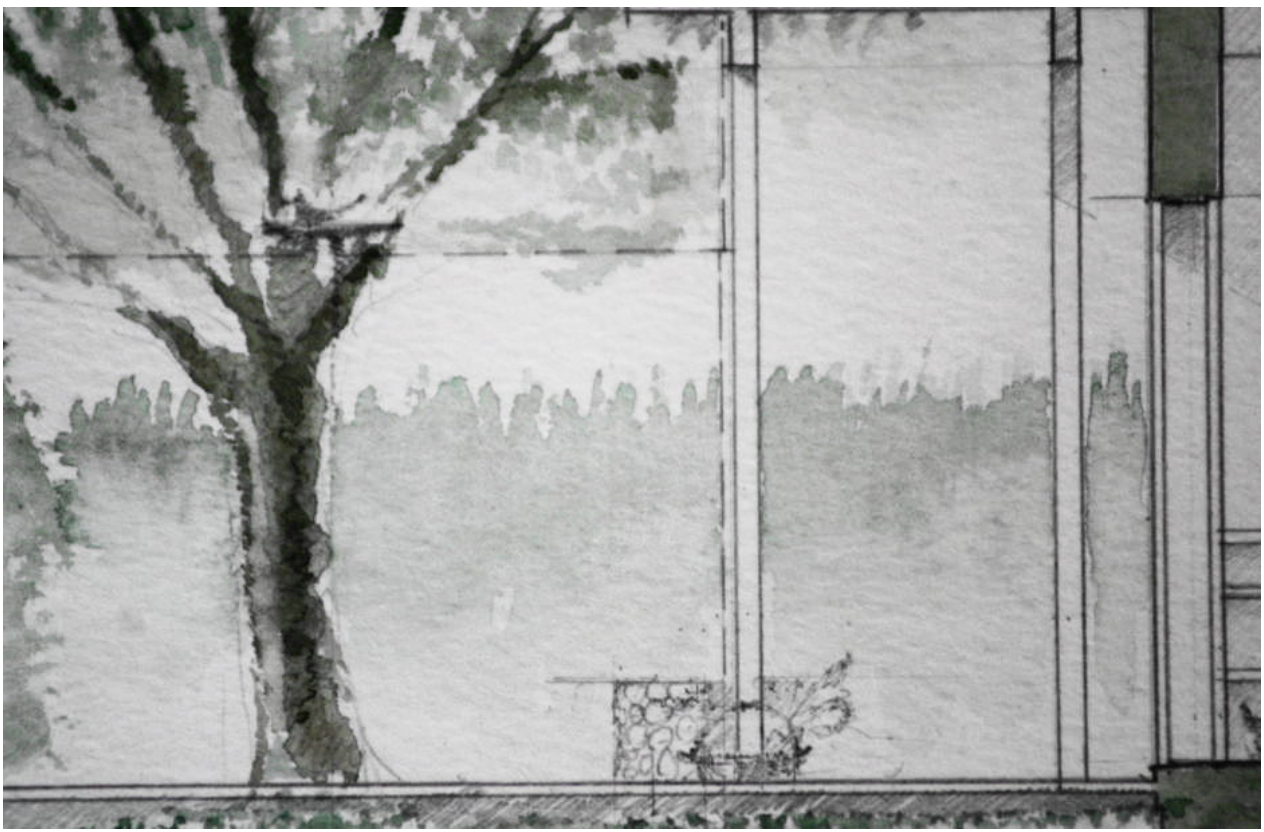
隣家との境界は、塀ばかりでなく、

緑の間仕切りとして考えてみる。



台所の収納棚を考える、

寝室まわりの収納をコンパクトに工夫する。



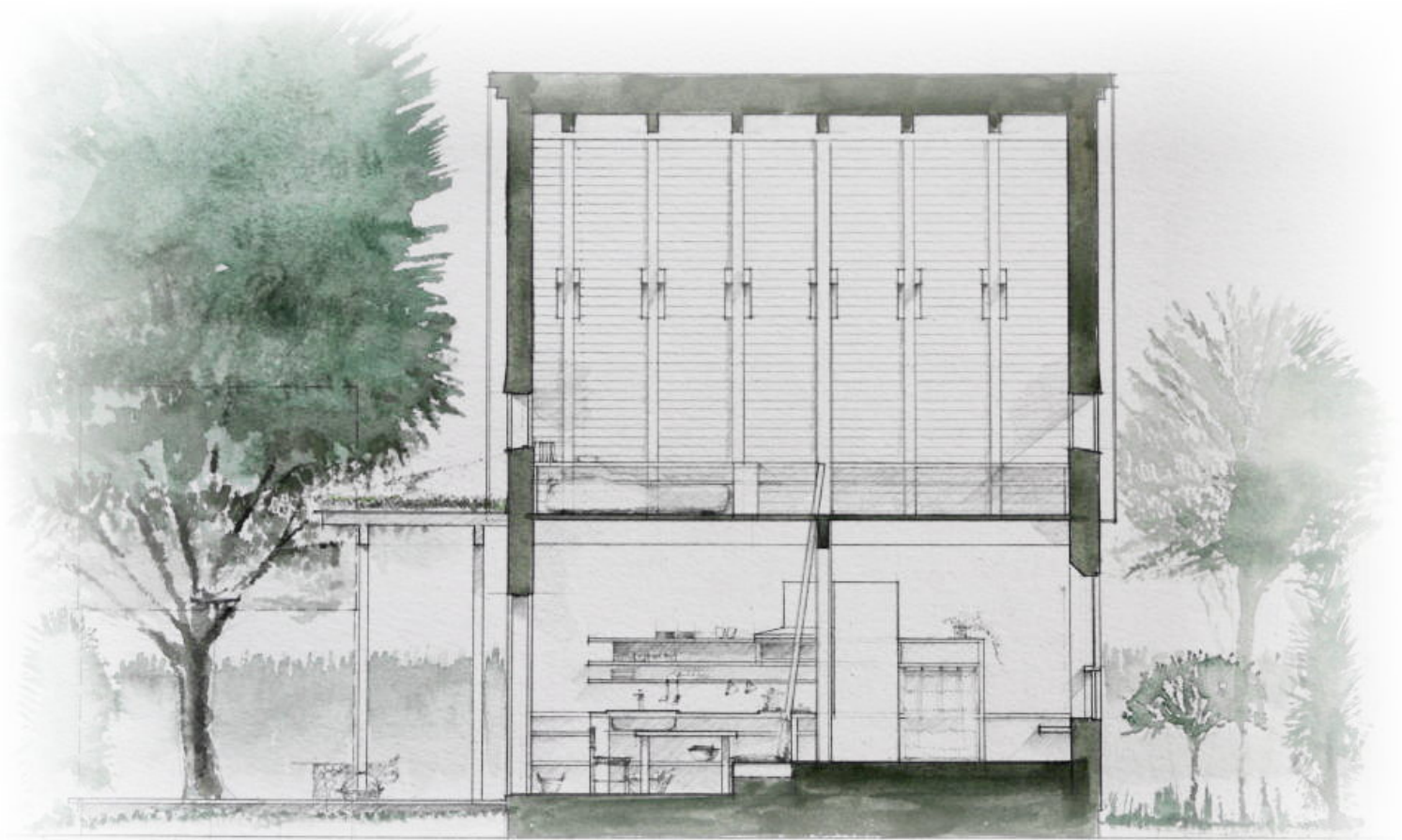
木影にデッキが広がる

パーゴラの影は、ダイニングに

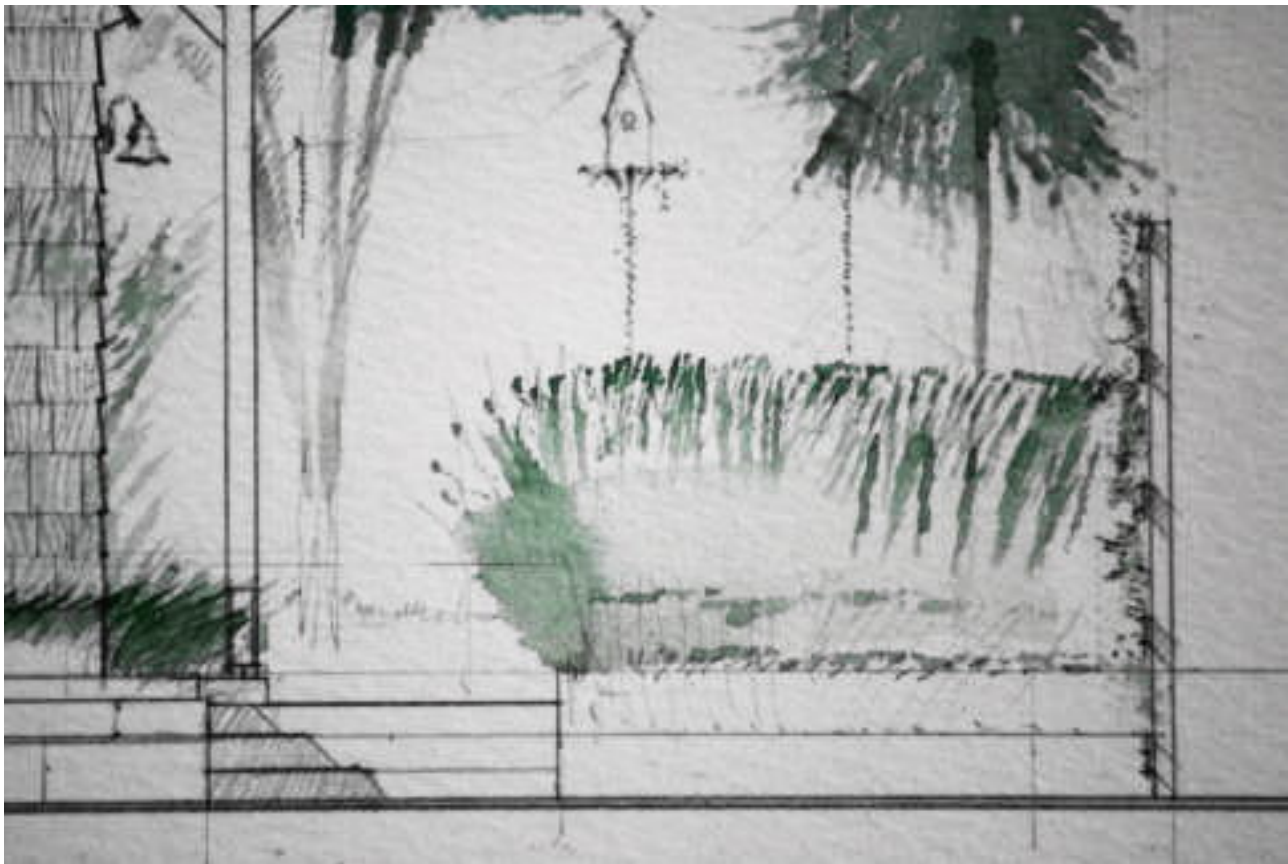
さわやかな風を送る。



屋根裏部屋の小窓にも緑、



木と家と、そしてデッキとパーゴラで構成しよう。

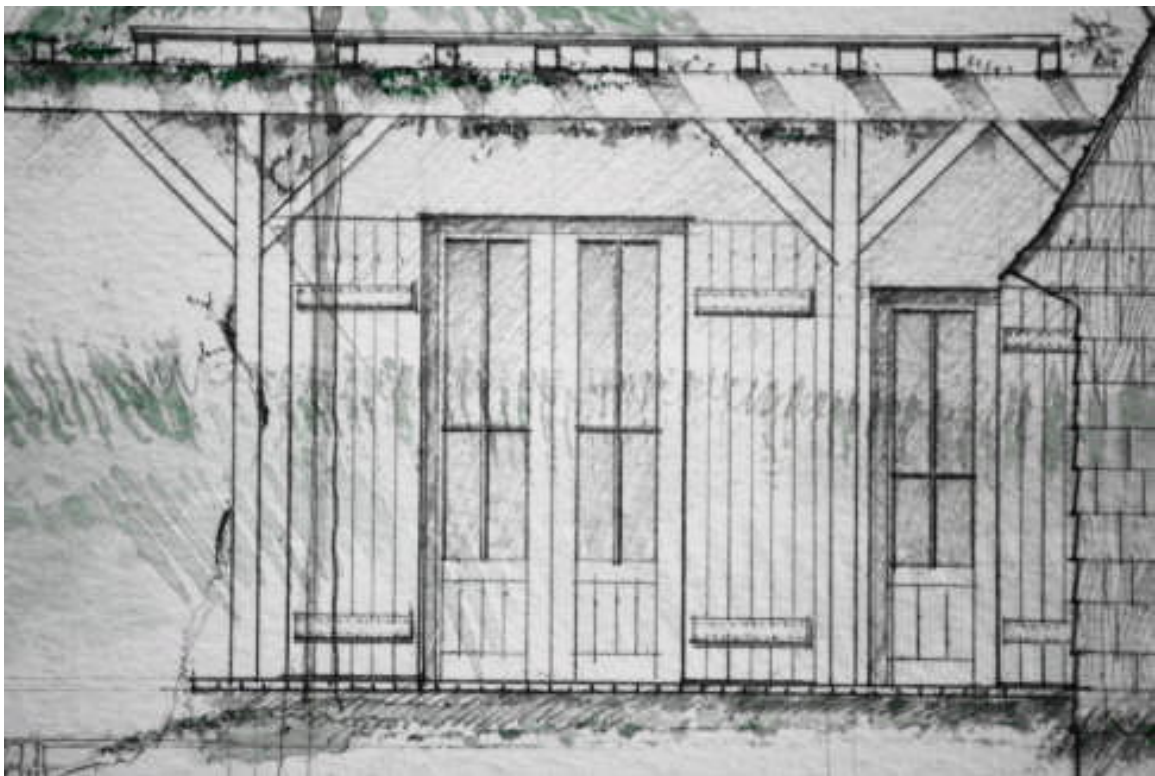


車一台の駐車スペース、

その横に玄関アプローチ、

ガーデンハウスに沿って、

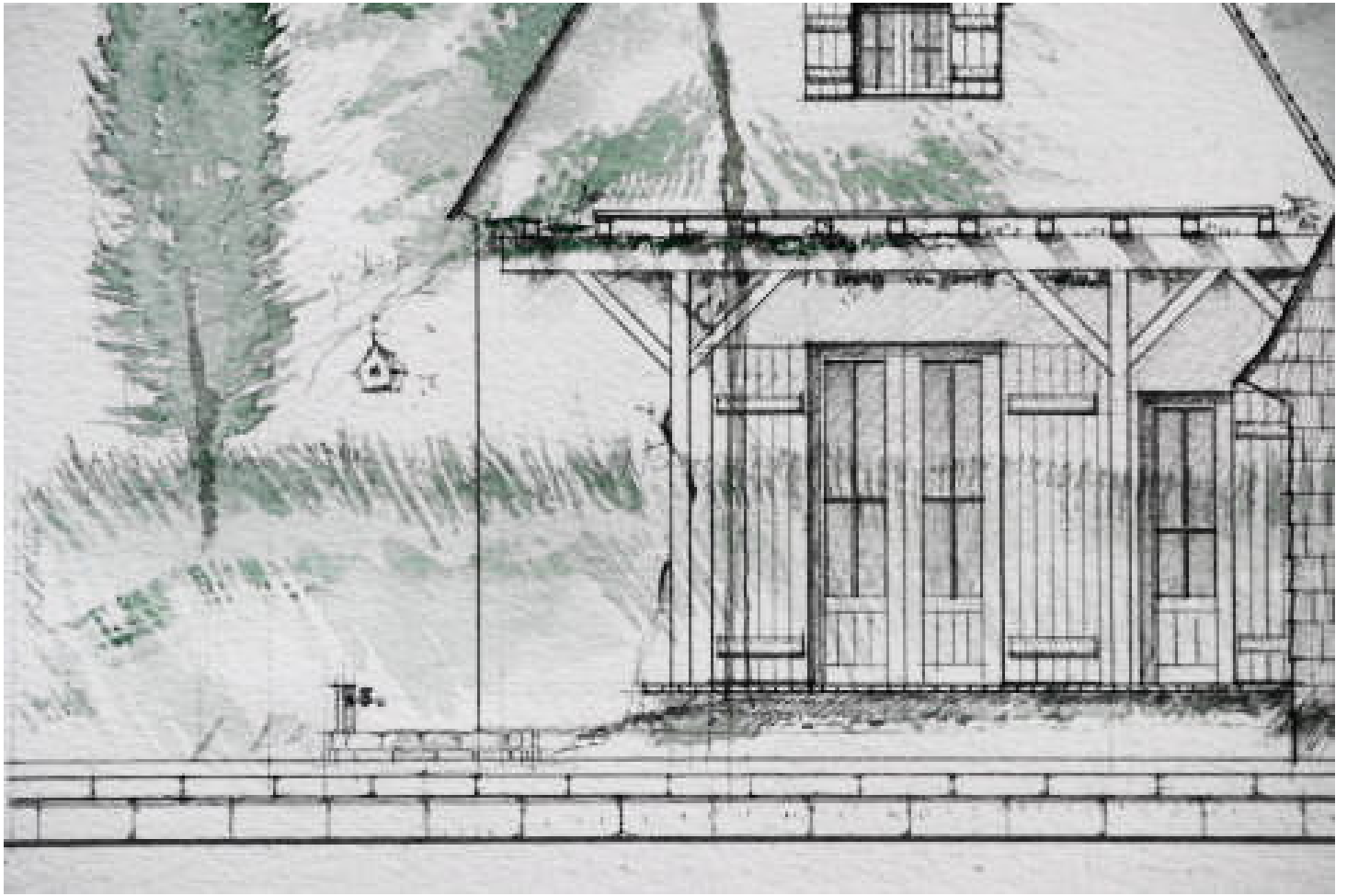
パーゴラへと自然にアプローチされる。



生垣を透かして街路から見ると、こんな風に、

ダイニングからデッキへと

大きく開かれる窓がある。



木々の緑が、白い外壁にくっきりと浮かぶだろう、



この街に住む家は、簡素な佇まい、

ここに書かれたことの全ては、

私達が小さな家で暮らしてきた実践と経験に基づいています。

私達は、里山に住んでいますが、簡素な暮らしを街でならと考え、

ローコストな家として設計してみました。　そうすることによって

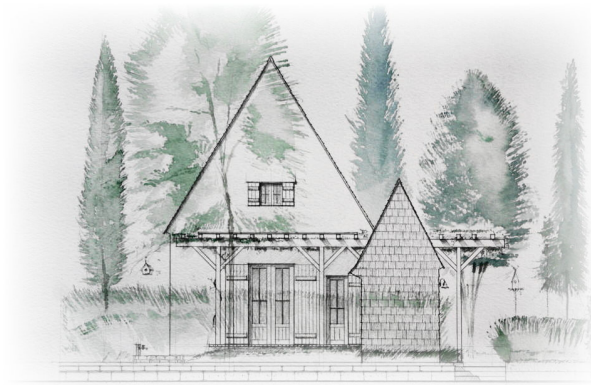
暮らしと家について、大切な手掛かりがはっきりすると思えたのです。

島好常

YOSINOBU SIMA

・ 島いずみ

IZUMI SIMA



sima yosinobu